

研究者情報

平成 30 年 度

金沢学院大学・金沢学院短期大学

目 次

◇金沢学院大学

学長(大学)	p. 1
副学長(大学)	p. 2
学長(短大)	p. 4
副学長(短大)	p. 5
文学部	p. 7
経営情報学部	p. 29
芸術学部	p. 38
人間健康学部	p. 46
基礎教育機構	p. 62

◇金沢学院短期大学 p. 69

- 現代教養学科
- 食物栄養学科
- 幼児教育学科

◇大学院担当教員 p. 84

◇教員索引

氏名(五十音順)	p. 85
--------------------	-------

金沢学院大学 学長

(Minoru Akiyama)

教授

秋山 稔

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本文学概説Ⅰ・Ⅱ 金沢まち学 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 博士(文学) 慶應義塾大学
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 昭和文学会 泉鏡花研究会 室生犀星学会
- ⑤ E-mail : akiyama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇岩波文庫『歌行燈』(2017. 6) ◇『泉鏡花 転成する物語』(2014. 4、梧桐書院) ◇「帰郷小説としての『縷紅新草』」(「昭和文学研究」64集、2012. 3) ◇「自然主義と鏡花」(「解釈と鑑賞」2009. 9) ◇「勝手口から戦場へー泉鏡花『勝手口』試論」(「日本近代文学」第七十九集、2008. 11) ◇『室生犀星事典』(2008. 9、鼎書房) ◇『新編 泉鏡花集』第1巻〈金沢一〉、第2巻〈同二〉、第9巻〈北陸〉(2003. 10、2004. 2、2004. 4、岩波書店) ◇『徳田秋聲金沢シリーズ 郷里金沢』『同 挿話・町の踊り場』『同 感傷的の事』(2005. 8、2005. 12、2006. 3、能登印刷出版部)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

泉鏡花・徳田秋聲を視点として近代文学史を再検討すること。

金沢学院大学 副学長

(Masahiro Ate)

教授

阿手 雅博

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営情報基礎 I・II デジタルプレゼンテーション I・II
演習 特論演習 問題解決システム研究 他
- ② 出身学校 : 富山大学大学院工学研究科
- ③ 学 位 : 博士(工学) 大阪大学
- ④ 所属学会 : 経営情報学会 オペレーションズリサーチ学会 日本 casting
工学会
- ⑤ E-mail : ate@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「技術経営の中小製造業への適用」(金沢学院大学紀要 経営・経済・社会学編 第8号)
- ◇「意思決定と支援システム」(金沢学院大学紀要 経営・経済・社会学編 第4号)
- ◇「記述問題の自動評価を目指した教育支援システムによる Interactive Education」(情報教育
方法研究 Vol.3 No.1,37)
- ◇「自然言語処理による欠陥対策現場情報の知識整理」(鑄造工学 Vol.75 No.3)
- ◇「スコア法による欠陥対策の意思決定支援システム」(鑄造工学 Vol.75 No.4,270)
- ◇Accumulation of the Knowledge by a Casting Defect Data Base : International Journal of
Materials & Product Technology Vol.19 No.6 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①意思決定支援システム ②鑄造方案支援エキスパートシステム ③自然言語処理による技術
文書の有効活用 ④尾張町活性化プロジェクト

金沢学院大学 副学長

(Tatsufumi Yamazaki)

教授 山崎 達文



- ① 担当科目 : 工芸史 工芸概論 美術と社会 文化財入門 博物館概論
博物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習 他
- ② 出身学校 : 横浜国立大学 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 漆工史学会 意匠学会 文化財保存修復学会
- ⑤ E-mail : yama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『加賀纏ー金沢に生きる火消し道具ー』監修編著(金沢市文化財保護課)2016 ◇『城下町金沢論集』共著(石川県・金沢市)2015 ◇『WATCH FACE DESIGN COMPETITION2014』編著(経済産業者 JAPAN ブランド育成支援事業) ◇『金沢金箔伝統技術調査報告ー製箔用手漉き紙に関する研究』(金沢市)2013 ◇「日本の金箔製造における澄打紙の研究」(金沢学院大学紀要文学美術編第10号)2012 ◇『工藝の再結晶』共著(紅ミュージアム)2011 ◇『金沢金箔伝統技術調査報告ー縁付金箔に関する報告』(金沢市)2010 ◇『製箔用手漉き澄打紙復興への取り組み』石川県箔商工業協同組合 2009 ◇『甦る江戸の化粧道具 板紅』共著(紅ミュージアム)2008 ◇『叢書・近代日本のデザイン明治編』共著(ゆまに書房)2007 ◇『週間人間国宝 43 工芸技術漆芸④』共著(朝日新聞社)2007 ◇『近代日本デザイン史』共著(美学出版)2006 ◇「金沢銅器会社研究ー」(本学紀要第4号)2006 ◇『漆芸家小松芳光遺作集』編著(橋本確文堂)2005 ◇「輪島塗碗の加飾表現に関する一考察ー昭和の見本碗をとおして」(同紀要第2号)2004 ◇「納富介次郎の目指したものー工芸産業の育成振興にむけて」(同紀要第1号)2003

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①近代初頭以来、国策としての美術振興が従来からの工芸観に及ぼした作用とその展開 ②地方在来産業諸職活性化支援 ③美術表現における素材と技術の連関に関する研究

金沢学院短期大学 学長

(Mieko Kawamura)

教授 **川村 美笑子**



- ① 担当科目 : 基礎栄養学 応用栄養学Ⅰ・Ⅱ 学修基礎Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学
- ③ 学 位 : 農学博士 (東北大学)
- ④ 所属学会 : 日本栄養学教育学会評議員 日本微量元素学会 他
- ⑤ E-mail : m-kawamura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Inter- and intra-individual variation of food and nutrient consumption in a rural Japanese population. *European Journal of Clinical Nutrition*. 52:781-785(1999) 共著◇
Dietary habits and nutrient intake in non-alcoholic steatohepatitis. *Nutrition*. 23 : 46-52(2007) 共著◇Metabolic analysis of vanadate and effect on neurochemical behavior as a result of chronic oral administration of vanadate. *Trace Elements in Man and Animals*, NRC Research Press, Canada. 220-223(2008) 共著◇海洋深層水から精製した海水由来の新素材—トレハロース/ミネラル複合体の血漿マグネシウム回復および血糖低下作用—*Trace Nutrients Research*. 25 : 114-121(2008) 共著◇アミノ酸スケールによる慢性腎不全患者の低タンパク食の評価. *Trace Nutrients Research*. 27 : 97-102(2010) 共著◇Mg 欠乏食-甘味料溶液継続摂取がマウス脳内セロトニン濃度に及ぼす影響. *Trace Nutrients Research*. 30:58-63(2013) 共著◇食環境は脳機能にどのような変化を与えるか. *FOOD STYLE*. 21(8):42-48(2014) 単著

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

子どもから高齢者まで、ライフステージを基本に、食や健康の課題を栄養保健学・栄養生理学の視点から地域の特性を踏まえて学問的に捉え直し、その成果を社会システムの中に位置づける研究、例えば「ライフサイクルと食の特徴」「生活習慣や生活環境が食や食物成分の代謝に及ぼす影響」「学校や職域、地域における、食育や食環境整備、健康づくり活動」「食事調査・評価・指導支援システムの開発と健康管理への応用」

金沢学院短期大学 副学長

(Kumiko Kouchi)

教授 **河内 久美子**



- ① 担当科目 : 基礎演習 ライフデザイン 住文化論 生活環境論 共生社会実習B 日本文化研究 情報活用演習 卒業研究
- ② 出身学校 : 奈良女子大学大学院家政学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 家政学修士
- ④ 所属学会 : 日本家政学会 日本インテリア学会
- ⑤ E-mail : kouchi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「学生による授業アンケートの実施分析」(金沢学院短期大学 紀要第14号) ◇「子育て環境と色彩景観」(金沢学院短期大学 紀要第7号) ◇「The research of junior college's education in cooperation with indigenous industries I・II・III」(13th BIENNIAL ARAHE CONGRESS)) ◇「ジークフリード・ギーディオンの『change』の意味の考察」(金沢学院短期大学起用第1号) ◇「氷見の家」(氷見市) 木造一部鉄骨2階建専用住宅改築
- 「T邸」(野々市市) 型枠補強CB造3階建専用住宅 ◇「小立野の家」(金沢市) 型枠補強CB造3階建専用住宅 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①短期大学における学習成果の査定手法 ②金沢の生活文化を題材にしたPBLのテーマ設定と指導法 ③シェアハウジングの事例研究 ④自治体による子ども・子育て支援情報のWeb発信について

◇金沢学院大学

- 文学部
- 経営情報学部
- 芸術学部
- 人間健康学部
- 基礎教育機構

金沢学院大学 文学部

学部長 水洞 幸夫

	教授	准教授	講師	助教
文学科	秋山 稔 *日 石崎 建治 *歴 小嶋 芳孝 *歴 ○水洞 幸夫 *日 中島 彰史 *英 馬場先恵子 *歴 柳澤 良一 *日 米澤 正雄	大滝 宏一 *英 菟 際子 *日 寺田 智美 *日 中崎 崇志 *心 中村 晋也 *歴 坂東 貴夫 *英 本多 俊彦 *歴 前川 浩子 *心	井内 健太 *日 加来 奈奈 *歴 工藤 義信 *英 小西 護 佐々木 聡 *歴 松村祐香里 *英 室橋 弘人 *心 森本 哲介 *心 Richard Grassi *英	
教育学科	今田 晃一 岡 秀夫 小嶋祐伺郎 笠間 弘美 ○多田 孝志 藤原 正光 増淵 幸男 米澤 利明	小林 淳一 佐田東 彰 塚崎 玲子 藤森 慎一 米川 泉子	奥泉 敦司 南雲 まき 乗富 章子 村松 麻里	枝元香菜子

○：学科長

(五十音順)

*日 日本文学専攻

*英 英米文学専攻

*歴 歴史学専攻

*心 心理学専攻

(Yukio Suido)

教授 **水洞 幸夫** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 地域と文学 近・現代文学演習C 国語科教育法Ⅱ
創作実践
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会
- ⑤ E-mail : suido@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「芥川龍之介『鼻』論」(『金沢学院大学紀要第9号』文学・美術・社会学編 2011年3月)
- ◇「芥川龍之介『羅生門』論—下人が盗人になる理由—」(『金沢大学国語国文34号』2009年3月)
- ◇「太宰治『家庭の幸福』論—ラジオ的な〈幸福〉を超えて—」(『太宰治研究16号』2008年6月)
- ◇「芥川龍之介『疑惑』試論—沈黙する「私」を超えるドラスター」(『金沢学院大学紀要第6号』文学・美術・社会学編 2008年3月)
- ◇「芥川龍之介『お富の貞操』試論—〈可哀さう〉の射程—」(『金沢学院大学紀要第4号』文学・美術編 2006年3月)
- ◇「芥川龍之介『六の宮の姫君』試論」(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編 2005年3月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学。特に大正期の散文作品を中心に、その享受史も考慮しつつ、作品の新しい〈読み〉をさぐる。

(Kenji Ishizaki)

教授 **石崎 建治** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本史概説Ⅰ 古文書学演習Ⅰ 中世史演習 プレ卒業研究
演習 日本史特殊講義 日本歴史文化学特論Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (早稲田大学)
- ④ 所属学会 : 日本歴史学会 日本古文書学会 史学会 他
- ⑤ E-mail : ishizaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「織田信長『麟』字型花押の含意」(『日本歴史』第664号 2003年9月)
- ◇「本能寺の変と上杉景勝」(『日本歴史』第685号、2005年6月)
- ◇「永享初年における足利義教政権の構造と特質」(『金沢学院大学文学部紀要』第5集、2000年3月)
- ◇「中世東国社会における永楽通宝選好性の一要因」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月)
- ◇「『謙信公御書集』の史料的性格に関する一考察」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第8号 2010年3月)
- ◇「加賀藩士猪山直之日記(八)」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第12号 2014年3月)
- ◇「貨幣を教材・主題とした高等学校地理歴史科・中学校社会科授業の実践的研究(Ⅰ)」(『金沢学院大学紀要』第15号 2017年3月)
- ◇『加賀藩御算用者猪山直之日記』(時鐘舎 2010年10月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①日本中世政治史 (特に室町後期から戦国・織豊にかけての政治史)
- ②中世文書の古文書学的研究
- ③日本中世社会における貨幣流通
- ④加賀藩武家社会研究

(Yoshitaka Kojima)

教授 **小嶋 芳孝** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 考古学概説Ⅰ・Ⅱ 考古学研究法Ⅰ・Ⅱ 古代学演習 考古学演習Ⅰ 考古学実習Ⅰ・Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究 アジア歴史文化特論 特論演習 アジア研究
- ② 出身学校 : 同志社大学文学部文化学科文化史学専攻
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 石川考古学研究会 北海道考古学会 日本文化財科学会 日本考古学協会 日本中国考古学会 古代学研究会 他
- ⑤ E-mail : y-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『中国とロシア沿海地方における渤海の考古学的研究』金沢学院大学 ◇「日本海の島々と靺鞨・渤海の交流」『境界の日本史』山川出版社 ◇「渤海の仏教遺跡」『日本と渤海の古代史』山川出版社 ◇「能登の半島世界」『人とモノと道と』岩波書店 ◇「図們江流域の渤海都城と瓦当」『東アジアの都城と渤海』(財)東洋文庫 ◇「日本海対岸世界との交通」『日本海域歴史大系第一巻』清文堂 ◇「環日本海交流史の様相」『北東アジア交流史研究』塙書房 ◇「古代日本の境界領域と能登」『古代日本の異文化交流』勉誠出版 ◇「渤海平地城の検討」(『扶桑(田村晃一先生喜寿記念論文集)』)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①古代東北アジアにおける地域社会の形成史に関する研究 ②渤海考古学の研究 ③日本海沿岸地域の交流史に関する研究 ④加賀・能登の古代史に関する研究

(Ayahumi Nakajima)

教授 **中島 彰史** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 英語学概論Ⅱ 英語学講読Ⅰ 英語音声学Ⅰ・Ⅱ 朝鮮語Ⅰ・Ⅱ 言語学演習Ⅰ プレ卒業研究演習 卒業研究
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本言語学会 日本英語学会 日本認知言語学会
- ⑤ E-mail : nakajima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英語の句動詞における不変化詞の意味論」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第7号 2009年3月) ◇「コーパスデータに基づく英語心理動詞の分析」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第3号 2005年) ◇「英語における名詞転換動詞とその概念化」(『金沢学院大学文学部紀要』第4集 1999年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

言語の形態構造や文法構造と意味・概念構造との間にいかなる関連性があるのかを類型論的に研究している。

(Keiko Babasaki)

教授 **馬場先 恵子** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 地域連携プロジェクトⅠ・Ⅱ 地誌 近代史演習Ⅰ・Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究 金沢まち学特講 都市と芸術 プレゼンテーション基礎 プレゼンテーション活用 美術と社会 他
- ② 出身学校 : 大阪大学
- ③ 学 位 : 博士(学術)(金沢大学)
- ④ 所属学会 : 土木学会 日本都市計画学会 日本建築学会
- ⑤ E-mail : babasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇景観計画における地形に基づく高さ規制の考え方ー金沢重要文化的景観地域の景観誘導
- ◇金澤町家◇万葉集から読み取る越中の景観特性 ◇金沢城下における町人の外出行動の空間特性 ◇金沢城下の広見の起源と配置について ◇地域の伝統芸能の継承活動の実態と課題
- ◇金沢市における橋からみた惣構堀・用水の規模と変遷 ◇みち空間におけるアメニティ向上のための環境整備計画に関する研究 ◇歴史的遺産を有する地域の保存と整備に関する調査研究
- ◇歴史的町並み景観における建物正面意匠の連続性 ◇伝統的住宅の地域的特徴一町家格子について

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①風土・歴史的文脈を背景とした都市環境整備方策の検討②文化遺産の保存と活用施策の検討
- ③住民参加のまちづくり推進のための社会システムの構築

(Ryōichi Yanagisawa)

教授 **柳澤 良一** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 漢文学講読Ⅰ 和漢比較文学特論Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 和漢比較文学会(常任理事) 和歌文学会 中古文学会 日本中国学会 他
- ⑤ E-mail : yanagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『本朝麗藻総索引』(勉誠社・平成5年) ◇『続撰和漢朗詠集とその研究』(和泉書院・平成13年) ◇『石川県立図書館蔵 川口文庫善本影印叢書』三巻(勉誠出版・平成20~22年)
- ◇『新撰朗詠集全注釈』四巻(新典社・平成23年) ◇『和漢朗詠集/新撰朗詠集』(共著、明治書院・平成23年) ◇「平安時代寛弘期の漢詩の作り方について」(國語と國文學・平成26年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

上代から中世までの日本漢文学の研究及び和漢比較文学

(Masao Yonezawa)

教授 **米澤 正雄**



- ① 担当科目 : 教育原論 教育実地研究 教育実習Ⅰ・Ⅱ 道德教育論
教職実践演習 (中・高) 他
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院 博士課程 教育学研究科 教育哲学専攻
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 教育哲学会 日本デューイ学会(理事) 日本教育学会 他
- ⑤ E-mail : masao-y@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇石川照子、高橋裕子編著『ジェンダー史叢書2 家族と教育』明石書店、2011年。◇高橋勝、新井保幸編『教育哲学の再構築』学文社、2006年。◇米澤正雄編『中島義一著作集2 教師と母の為の哲学』紫峰図書、2002年。◇米澤正雄編『中島義一著作集3 こども認識論 林檎の味』紫峰図書、2003年。◇米澤正雄「篠原助市は何故に自らの教育規定を転換したのか?—『教育の本質と教育学』(1930)における「理論的教育学」の構想と『理論的教育学』(1929)の論述内容とのズレに着目して—」『東洋大学文学部紀要 第69集 教育科学編XLI 2015年度』2016年3月、pp.43-54, 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①ジョン・デューイの教育思想・実験学校での教育実践とジェーン・アダムズのセツルメント論・事業との解明
- ②デューイ教育思想の日本における受容(特に、篠原助市の教育学理論の形成と展開)の解明
- ③中島義一の「自由教育」論・『子ども哲学叢書』(全七編)の形成と理論構造の解明

(Koichi Imada)

教授 **今田 晃一**



- ① 担当科目 : ICT活用教育概論 コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ フレッシュマンセミナー 学校インターンシップ
- ② 出身学校 : 奈良教育大学教育学部、神戸大学大学院総合人間科学研究科
- ③ 学 位 : 博士(学術)
- ④ 所属学会 : 日本教育工学会 日本教育方法学会 国際理解教育学会
日本学校教育学会 日本教材学会 他
- ⑤ E-mail : imada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

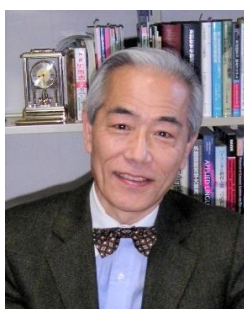
◇文部科学省検定教科書著者(高校普通教科「情報」、中学校「技術・家庭」) ◇平成9年度松下視聴覚教育研究賞文部大臣賞個人受賞 ◇今田晃一・鈴木賢男(2016)「アクティブ・ラーニング型授業とICT活用の留意点～埼玉県羽生市フィーチャースクール事業の授業評価より～」、文教大学教育研究所『教育研究所紀要』第25号、pp.17-30 ◇今田晃一監修『ICT活用で授業を活性化! デジタル教材かんたんレシピ』、開隆堂、2010

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

主体的・対話的で深い学びを促進するICT活用の在り方について

(Hideo Oka)

教授 **岡 秀夫**



- ① 担当科目 : 英語学特論 言語習得研究
- ② 出身学校 : 広島大学、広島大学大学院、イギリス・レディング大学大学院
- ③ 学 位 : 修士 (教育学)、MA in Applied Linguistics
- ④ 所属学会 : 大学英語教育学会 (JACET) 日本言語テスト学会
- ⑤ E-mail : oka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『英語を学ぶ楽しみ-国際コミュニケーションのために-』(くろしお出版、2018) ◇『小学校英語教育の進め方-「ことばの教育」として-』(成美堂、2012) ◇『グローバル時代の英語教育-新しい英語科教育法-』(成美堂、2011) ◇『外国語教育学研究のフロンティア-四技能から異文化理解まで-』(成美堂、2009) ◇『バイリンガル教育と第二言語習得』(大修館書店、1996)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 第二言語能力の仕組みとそれがいかに機能するのか
- ② 外国語能力の指導と評価-CALP の観点から

(Yujiro Ojima)

教授 **小嶋 祐伺郎**



- ① 担当科目 : フレッシュマンセミナー 社会 学校インターンシップ 地域連携プロジェクト I
- ② 出身学校 : 広島大学教育学部、広島大学大学院学校教育研究科社会科教育専攻
- ③ 学 位 : 修士 (学校教育学)
- ④ 所属学会 : 日本社会科教育学会 日本学校教育学会 日本国際理解教育学会 日本道德教育学会 日本 ESD 学会
- ⑤ E-mail : o-yujiro@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『新社会科授業づくりハンドブック中学校編』(共著) (明治図書 2015 年) ◇『グローバル時代の国際理解教育～理論と実践をつなぐ～』(共著) (日本国際理解教育学会 2010 年) ◇『教員養成大学におけるグローバル人材育成を考える報告書』(共著) (奈良教育大学国際交流留学センター 2017) ◇『地球市民意識を育む道德性育成の実践的研究～多文化共生社会における市民性育成の視点から～』(単著) (奈良教育大学次世代教員養成センター紀要 2017)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ケアの倫理に基づく道德性育成の研究 社会科教育における市民性教育の可能性 等

(Hiromi Kasama)

教授 **笠間 弘美**



- ① 担当科目 : 英語 I・II・III・IV 英語学概論 ビジネス英語 I・II 他
- ② 出身学校 : 龍谷大学
- ③ 学 位 : MATESL
- ④ 所属学会 : 日本マンスフィールド協会 大学英語教育学会 日本英語教育史学会 日本ニュージャーナリスト学会
- ⑤ E-mail : kasama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『マンスフィールド事典』(共著)文化書房博文社 2007年10月 ◇「新中学校改訂英語教科書についての一考察」『金沢学院大学紀要』第15号 2017年3月 ◇「キャサリン・マンスフィールドの「前奏曲」と「入江のほとり」で使われる基本色彩語に関する比較考察」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第11号 2013年3月 ◇「マンスフィールドの‘Prelude’における文体分析:「with句(構文)」の用法に焦点を当てて」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第9号 2011年3月 ◇「マンスフィールドの短編における文体―「with句(構文)」の用法に焦点を当てて―」『マンスフィールド研究』第8号 日本マンスフィールド協会 2009年10月 ◇「コーパス処理による基本色彩語分析に見るマンスフィールド作品の特徴―マンスフィールド研究とコーパスの利用に関する一考察―」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①コーパス処理に基づく文学作品の文体研究 ②語彙、語法からみた英語教科書の国際比較

(Takashi Tada)

教授 **多田 孝志**



- ① 担当科目 : 国際理解教育概論 多文化理解概論 他
- ② 出身学校 : 東京学芸大学
- ③ 学 位 : 博士(学校教育学)
- ④ 所属学会 : 日本学校教育学会 日本国際理解教育学会 日本環境教育学会
- ⑤ E-mail : tada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『学校における国際理解教育』(単著)(東洋館出版、1997年) ◇『地球時代の教育とは』(単著)(岩波書店、2000年) ◇『授業で育てる対話力』(単著)(教育出版、2011年) ◇『現代国際理解教育事典』(日本国際理解教育学会編、編纂委員長、明石書店、2012年) ◇『持続可能な社会のための教育』(佐藤学 諏訪哲郎 木曾功 多田孝志編著、教育出版、2015年) ◇『教育のいまとこれからを読み解く57の視点』(多田孝志編集代表、教育出版、2017年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①対話型授業研究 ②生物多様性 ③間論 ④教師教育

(Masamitsu Fujihara)

教授 **藤原 正光**



- ① 担当科目 : 教育心理学
- ② 出身学校 : 埼玉大学教育学部、都立大学大学院修士課程心理学専攻
- ③ 学 位 : 文学修士 (心理学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本学校心理学会 日本学校心理士会
- ⑤ E-mail : m-fuji@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇藤原正光 (1976) 「同調行動の発達的变化に関する実験的研究」心理学研究, 47 (4), pp193-201.
- ◇藤原正光 (2009) 「学級集団形成に及ぼす諸要因の効果と社会心理学の動向」教育心理学年報, 42, pp52-67.
- ◇藤原正光・志賀彩奈 (2112) 「自己表現スタイルに及ぼす学級での人気度と性差と状況要因の効果」文教大学教育学部紀要, 46, 95-104.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「子どもの自己表現スタイルと社会性の発達」

(Yukio Masubuchi)

教授 **増淵 幸男**



- ① 担当科目 : 教育原理
- ② 出身学校 : 上智大学文学部、上智大学大学院文学研究科
- ③ 学 位 : 教育学博士 (慶應義塾大学)
- ④ 所属学会 : 関東教育学会 東北教育哲学教育史学会 日本ヤスパース協会 日本カトリック教育学会 三田教育学会
- ⑤ E-mail : masubuti@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『教育学の論理』(単著) (以文社 1986年) ◇『ヤスパースの教育哲学研究』(単著) (以文社 1989年) ◇『教育的価値論の研究』(単著) (玉川大学出版部 1994年) ◇『シュライアーマッハーの思想と生涯—遠くて近いヘーゲルとの関係』(単著) (玉川大学出版部 2000年)
- ◇『ナチズムと教育—ナチス教育政策の原風景』(単著) (東信堂 2004年) ◇『「いのちの尊厳」教育とヒューマニズムの精神—生命科学との対話を求めて』(単著) (上智大学出版 2010年)
- ◇『グローバル化時代の教育の選択 高等教育改革のゆくえ』(単著) (上智大学出版 2010年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①人権教育の歴史的展開と今日的課題
- ②教育と農の共通地平
- ③教師論の新たな展望

(Toshiaki Yonezawa)

教授 **米澤 利明**



- ① 担当科目 : フレッシュマンセミナー 学校インターンシップ 地域連携プロジェクトⅡ
- ② 出身学校 : 横浜国立大学教育学部 上越教育大学大学院教育経営研究科
- ③ 学 位 : 教育学博士
- ④ 所属学会 : 日本学校教育学会 アメリカ教育学会 日本個性化教育学会
- ⑤ E-mail : t-yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『各教科等における「言語活動の充実」とは何か カリキュラム・マネジメントに位置付けたリテラシーの育成』(共著)(三省堂、2009年) ◇『学校間評価—自己評価と学校関係者評価とをつなぐ新しい学校評価システムの構築—』(共著)(学事出版、2009年) ◇『思考力・判断力・表現力等を育成する方策 中高の系統的指導のためのカリキュラム・マネジメント』(共著)(三省堂、2010年) ◇『グローバル時代の学校教育』(共著)(三恵社、2013年) ◇『特別活動論(新・教育課程シリーズ)』(共著)(一藝社、2013年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「TOC理論 学習する組織 U理論」それぞれの理論と学校現場での実践の往還に関する研究

(Koichi Otaki)

准教授 **大滝 宏一** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学・コネチカット大学
- ③ 学 位 : Ph.D. in Linguistics (University of Connecticut)
- ④ 所属学会 : 日本言語学会
- ⑤ E-mail : otaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「The acquisition of word order and its constraints in Kaqchikel: A preliminary study」(共著、『Selected Proceedings of the 5th Conference on Generative Approaches to Language Acquisition North America』、2014年)
◇「The Parameter of Argument Ellipsis: The view from Kaqchikel」(共著、『MIT Working Papers on Endangered and Less Familiar Languages 8』、2013年) ◇「Quantificational null objects in child Japanese」(共著、『Proceedings of the Fifth Formal Approaches to Japanese Linguistics』、2012年) ◇「Argument Ellipsis arising from non-fusional case morphology」(『Online Proceedings of GLOW in Asia Workshop for Young Scholars 2011』、2012年) ◇「Noun Raising in child English」(『Selected Proceedings of the 4th Conference on Generative Approaches to Language Acquisition North America』、2011年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「人間が話す言語にはどのような共通の基盤があるのか、一つ一つの言語はどのように異なっているのか、子どもはどのように言語を獲得するのか」といった問題を、主に英語と日本語に焦点を当てて研究しています。

(Kiwako Shitomi)

准教授

蒨 際子

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語表現法 近・現代文学演習 B 近・現代文学特殊講義 B
児童文学 プレ卒業研究演習 卒業論文 キャリアデザイン I・II
- ② 出身学校 : お茶の水女子大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会 お茶の水女子大学国語国
文学会
- ⑤ E-mail : kiwako@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「常体から敬体へー宇野浩二童話改変の検討ー」(『金沢学院大学紀要』15、2017) ◇「水
芦光子のミステリー小説ー『鷹』・『水の花火ー加賀藩噴水考ー』の周辺ー」(『金沢学院大学文学部
紀要』11、2013) ◇「宇野浩二の大患前兆期ー「円本もれ事件」をめぐってー」(『金沢学院大
学文学部紀要』10、2012) ◇『金沢を描いた作家たち』共著、2011 ◇「一つのマリリン理解ー
曾野綾子『砂糖菓子が壊れるとき』」(『金沢学院大学紀要』8、2010) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 宇野浩二を視座とした近代文学研究 ② 曾野綾子研究

(Tomomi Terada)

准教授

寺田 智美

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語学概説 I・II 日本語教育学 I・II 日本語学演習 日
本語文法 I・II 日本語教育学演習 日本語学特殊講義 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学
- ③ 学 位 : 修士(教育学)(早稲田大学)
- ④ 所属学会 : 日本語学会 日本語教育学会 日本国語教育学会 全国
大学国語教育学会 他
- ⑤ E-mail : teradato@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「研究ノート『方言修行 金草鞋』を読み解くー十返舎一九が描いた石川県ー」(『金沢学院大学教育セン
ター紀要』第2号(2018.3)) ◇「文学の映像化作品を使った文章表現指導の試みー劇場用アニメ『銀河鉄
道の夜』の1シーンを描きだすー」(『金沢学院大学紀要』第15号(2017.3)) ◇『新明解類語辞典』(執筆協力、
三省堂、2015.8) ◇「代名詞の史的変遷」(『品詞別学校文法講座 第2巻 名詞・代名詞』、明治書院、
2014.2) ◇『三省堂国語辞典 第七版』(執筆協力、三省堂、2013.12) ◇「『厚生新編』翻刻とノート(1)」
「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第10号(2012.3) ◇「高校留学生に対する日本語教育の問
題と課題」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号(2011.3)) ◇「〈日本事情〉教材に描かれる
〈日本〉」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号(2010.3)) ◇「翻刻『明治浮世風呂(二)』」
「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第6号(2008.3) ◇「夏目漱石の小説にみえる「相对女性語」
の考察」(『紀要』16 早稲田大学日本語研究教育センター 2003.5) ◇「早稲田大学蔵『助詞考』二種の比較考
察」(『早稲田大学図書館紀要』50、2003.3) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 近代日本語 ② 言語文化教育

(Takashi Nakazaki)

准教授 **中崎 崇志**



- ① 担当科目 : 心理学概論 A 学習心理学 知覚と認知の心理 心理学実習 (実験法) 認知学習心理学演習 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士 (文学) (金沢大学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本動物心理学会 北陸心理学会 教育システム情報学会
- ⑤ E-mail : nakazaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「意思決定過程研究へのオペラント変動性の視点の導入」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号 2011年) ◇「変動性研究の新しい方向性を探る:創造性,意思決定,動機づけとの関連」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号 2009年) ◇行動変動性研究の展開と問題点(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第5号 2007年) ◇「学生支援推進プログラム2009-2011 2011年度報告」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第10号 2012) ◇「創造的学習モデルと学内創造性能力比較」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第11号 2013) ◇「オペラント変動性をめぐる諸問題:研究の論点の展開」(『動物心理学研究』第50巻第1号 2000年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①習得済みの行動の遂行中に起こるエラーとその原因の分析 ②同じ目的のために、行動のバリエーションをどれくらい持てるか ③注意の配分と、情報処理および行動調整の関係

(Shinya Nakamura)

准教授 **中村 晋也**



- ① 担当科目 : 保存科学概説 I・II 保存科学演習 考古学と自然科学保存科学実習 保存科学特殊講義 埋蔵文化財の保護と活用 プレ卒業研究演習 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 奈良大学文学部文化財学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 日本文化財科学会 文化財保存修復学会 (理事)
- ⑤ E-mail : nakamura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇能登半島地震における復興支援活動-被災資料の調査・修復から復興へ-(『文化財の保存と修復-災害から文化財をまもる-』2012年) ◇定林寺所蔵「伝熊来左将監画像」の自然科学的調査 ◇二本榎遺跡出土ガラス資料の自然科学的調査 ◇トレハロースを使用した真空凍結乾燥法による出土木材の保存処理研究

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①考古資料(ガラス、青銅製品など)の材質・技法に関する研究 ②出土木製品の保存処理に関する研究 ③文化財の防災・減災に関する研究

(Takao Bando)

准教授 **坂東 貴夫** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 第二言語習得演習Ⅰ・Ⅱ 言語習得研究Ⅱ 英語資格試験対策Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 博士 (学術)
- ④ 所属学会 : 外国語教育メディア学会 大学英語教育学会 全国英語教育学会
- ⑤ E-mail : bando@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「英文処理における各情報間の優先度—動詞下位範疇化情報と D0-plausibility について—」(『環太平洋第二言語研究フォーラム 2016 論文集』2017年) ◇「補文標識 that の利用と補文主語の長さの関係」(『中部地区英語教育学会紀要 Vol. 46』2017年) ◇“The Influence of Verb Subcategorization Information and the Complementizer *that* on Sentence Processing by Japanese Learners of English as a Foreign Language.” (*JACET Journal*, Vol. 55, pp. 1-17, 2012)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

第二言語文処理。読解時間の測定等を用いた実証的研究により、英語学習者による英文の理解過程について研究している。

(Toshihiko Honda)

准教授 **本多 俊彦** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本史概説Ⅱ 古文書学演習Ⅱ 古文書学実習Ⅰ・Ⅱ 近世史演習Ⅰ・Ⅱ プレ卒業研究演習 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 富山大学大学院人文科学研究科
- ③ 学 位 : 修士 (文学)
- ④ 所属学会 : 日本古文書学会 日本史研究会 加能地域史研究会 地方史研究協議会 加賀藩研究ネットワーク 他
- ⑤ E-mail : t-honda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇伊藤俊一等共編『東寺廿一口供僧方評定引付』第1・2巻、思文閣出版、平成14・15年◇「加賀藩知行宛行状の古文書学的検討」、『加能地域史』第56号、平成24年◇「加賀藩における本多政重登用の再検討」、『高岡法科大学紀要』第26号、平成27年◇「福井藩の知行宛行状について」、『古文書研究』第80号、平成27年◇「前田利常後見期の加賀藩知行宛行状について」、湯山賢一編『古文書料紙論叢』勉誠出版、平成29年◇「青地家伝来の織田氏発給文書について」、『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』79号、平成29年◇「文書料紙調査の観点と方法」、小島浩之編『東アジア古文書学の構築—現状と課題—』、平成30年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇近世大名家関連文書の古文書学的検討◇「加賀八家」本多家伝来文書を中心とした加賀藩政史研究◇近世を中心として古文書料紙研究◇東寺旧蔵文書(国宝「東寺百合文書」など)を素材とした室町期政治史・寺院史研究

(Hiroko Maekawa)

准教授 **前川 浩子**



- ① 担当科目 : キャリアデザインⅠ・Ⅱ 心理学概論 B 発達心理学 パーソナリティ心理学 対人関係の心理学 プレ卒業研究演習 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 博士 (教育学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本発達心理学会 日本パーソナリティ心理学会 日本双生児研究学会 他
- ⑤ E-mail : maekawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「子どもにおけるやせ願望の背景(『子どもと発育発達』第14号, 203-209, 2016年)◇「どうして他人と比べるのをやめられないのか?(松本俊彦・岩室紳也・古川潤哉(編)(『こころの科学 中高生からのライフ&セックスサバイバルガイド』, 日本評論社, 30-37, 2016年)◇対人関係から見る摂食障害(安藤 寿康・鹿毛 雅治(編著)教育心理学『教育の科学的解明をめざして』慶應義塾大学出版会2013年)◇Two cohort and three independent anonymous twin projects at the Keio Twin Research Center (KoTReC) (『Twin Research and Human Genetics』 Vol.16(1) 202-216, 2013年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①子どもの社会情動的スキルの発達に関する研究(きょうだい関係を中心として)
- ②対人関係療法に関する研究 ③摂食障害に関する研究

(Junichi Kobayashi)

准教授 **小林 淳一**



- ① 担当科目 : 教職論 教育課程論 生徒・進路指導論 生涯学習概論 教職実践演習 英語Ⅰ・Ⅱ 地域課題ワークショップ A 他
- ② 出身学校 : 兵庫教育大学連合大学院
- ③ 学 位 : 博士 (学校教育学)
- ④ 所属学会 : 日本教師教育学会 日本教育経営学会 日本カリキュラム学会 日本学校教育学会 日本教育メディア学会 他
- ⑤ E-mail : kobayasi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『免許制度改革の現状と養成段階での学生の学び』日本学校教育学会『グローバル時代の学校教育』三恵社、2013.【博士学位論文】◇「教員養成系大学における学生の職業選択意識の形成研究—教職経験と教職決定過程における葛藤の解明—」, 兵庫教育大学大学院連合、2010. ◇「わが国の教員養成における理論知と実践知の関係構造に関する考察—教育職員免許法の制度原理と運用方法に着目して—」日本学校教育学会 ◇『学校教育の「理論値」と「実践知」—その現状と新たな関係性の探求—』教育開発研究所、2008. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①教員養成 ②学校教育 ③フィールドワーク

(Akira Saitou)

准教授 **佐田東 彰**



- ① 担当科目 : フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅡ
- ② 出身学校 : 日本大学法学部、上越教育大学大学院障害児教育研究科
- ③ 学 位 : 修士
- ④ 所属学会 : LD学会 行動分析学会 特殊教育学会
- ⑤ E-mail : a-saito@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇学級全体に対する支援が個人の問題行動の低減に及ぼす影響 —School-Wide Positive Behavior Support の視点から—, 平成 25 年 8 月, 『LD研究』第 22 巻, 第 3 号, 日本LD学会 (267-278 頁) ◇Team Teaching 体制の導入による問題行動の減少について —クラスワイドな支援から個別支援への指導過程の検討—, 平成 28 年 11 月, 『LD研究』第 25 巻, 第 4 号, 日本LD学会(463-475 頁) ◇自閉症スペクトラム障害のある幼児の不規則発言の減少と適切行動の増加, 平成 29 年 3 月, 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要』第 23 巻, 上越教育大学, (49~56 頁) ◇強い反抗性を示す ADHD 児の問題行動と学級全体の問題行動に対する支援—クラスワイドな支援と個別支援を組み合わせた支援過程の妥当性—, 平成 29 年 5 月, 『LD研究』第 26 巻, 第 2 号, 日本LD学会 (253-269 頁) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①通常の学級における特別な支援を要する幼児児童生徒への支援
- ②問題行動への支援
- ③学習障害への支援

(Reiko Tsukasaki)

准教授 **塚崎 玲子**



- ① 担当科目 : 英語 I・II 文化比較論 総合英語 I・II 英語 IB・IIB
- ② 出身学校 : 富山大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (奈良女子大学)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本フランス語フランス文学会 奈良女子大学英語英米文学会
- ⑤ E-mail : tukasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「『嵐が丘』の舞台裏—大農家としての風景—」日本英文学会『英文学研究』支部統合号第一巻 2009.1 ◇「ヒースクリフはなぜジプシーなのか—『嵐が丘』に潜む歴史的背景—」『文学と女性』英宝社 2000.11 ◇“Word Frequency in the Poems of Emily Brontë”(Brontë Society Transactions Volume25, part2. Maney Publishing, Leeds. October2000) ◇「キャサリン・アーンショーの『秘密』」『エミリ・ブロンテ論』開文社出版 1998.10 ◇Wuthering Heights における空白期間についての考察」日本英文学会中部支部『中部英文学』第 15 号 1996.3 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Wuthering Heights を理解するのに必要な、歴史的・文化的背景の掘り起こしを行っている。

(Shinichi Fujimori)

准教授 **藤森 慎一**



- ① 担当科目 : 算数 学校インターンシップ 他
- ② 出身学校 : 東京学芸大学、金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 修士
- ④ 所属学会 : 日本数学教育学会
- ⑤ E-mail : fujimori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

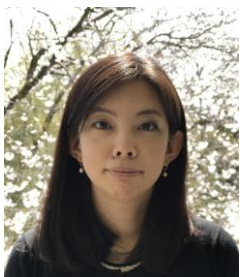
初等科数学科教育学序説の研究会、石川算数サークル主宰等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

算数科教材研究論

(Motoko Yonekawa)

准教授 **米川 泉子**



- ① 担当科目 : 保育内容総論 保育原理 他
- ② 出身学校 : 上智大学大学院
- ③ 学 位 : 修士(教育学)
- ④ 所属学会 : 日本保育学会 教育哲学会 関東教育学会 日本カトリック教育学会
- ⑤ E-mail : yonekawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

論文◇「雑誌『保育』に見られる保育カリキュラムについて—戦後から「保育要領」刊行まで—」
「目白大学総合科学研究紀要」第12号、pp. 45～52、2016年 ◇『曖昧な存在としての幼年童話を考える—幼年期の曖昧性—』「聖霊女子短期大学紀要」第42号、57～67頁、2014年 他
テキスト◇「第15章 現代社会に生きる10代と向き合うのは?—10代と秘密から考える」井藤元編『ワークで学ぶ教職概論』ナカニシヤ出版、2017年 ◇「第3章 子どもの物語からみた家庭団欒—子どもの望み」鈴木昌世編『「家庭団欒」の教育学—多様化する家族の関係性と家庭維持スキルの応用—』福村出版、2016年 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

幼児期から児童期にかけての子どもと幼年童話の教育人間学的意義について

(Kenta Inouchi)

講師 **井内 健太** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 古典文学特殊講義 漢文学講読Ⅱ プレ卒業研究演習
卒業研究 国語科教育法Ⅰ
- ② 出身学校 : 東京大学大学院 人文社会系研究科
- ③ 学 位 : 修士(文学)
- ④ 所属学会 : 東京大学国語国文学会 中古文学会
- ⑤ E-mail : inouchi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

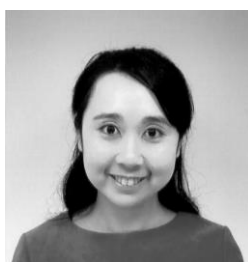
◇『源氏物語』藤壺の密通における「心の鬼」について(『国語と国文学』、2016年) ◇『源氏物語』花宴の史実と虚構——「探韻」を中心に(『むらさき』、2016年) ◇『源氏物語』における冷泉帝の罪について(『東京大学国文学論集』、2017年) ◇『源氏物語』須磨・明石巻の天変(『国語と国文学』、2017年) ◇『源氏物語』柏木の密通事件における意識(『東京大学国文学論集』、2018年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

『源氏物語』などの散文を中心とする平安時代の日本文学を研究の対象としている。

(Nana Kaku)

講師 **加来 奈奈** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 西洋史概説Ⅰ・Ⅱ 西洋史文献講読Ⅰ・Ⅱ 西洋政治史 西洋史演習 西洋史特殊講義 プレ卒論 卒業研究
- ② 出身学校 : 奈良女子大学
- ③ 学 位 : 博士(文学)
- ④ 所属学会 : 日本西洋史学会 西洋史世学会 ハプスブルク研究会 ブルゴーニュ公国史研究会 ベルギー研究会 他
- ⑤ E-mail : kaku@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「ブルゴーニュ・ハプスブルク期のネーデルラント貴族-フランスとの境界をめぐる問題とハプスブルクの平和条約での役割」(藤井美男編『ブルゴーニュ国家の形成と変容—権力・制度・文化』九州大学出版会2016年) ◇「ネーデルラントの統一と分裂」(大津留厚・水野博子・河野淳・岩崎周一編『ハプスブルク史研究入門—歴史のラビリンスへの招待』昭和堂、2013年) ◇「16世紀前半ネーデルラントの統一と渉外活動—1529年カンブレ平和条約履行におけるネーデルラント使節ジャン・ド・ソーの機能」(岩本和子・石部尚登編『「ベルギー」とは何か?—アイデンティティの多層性—』松籟社、2013年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近世のネーデルラント(現在のベネクスに相当)の政治外交史。16世紀前半のハプスブルク家とフランス王家との戦いの中で、ハプスブルク支配下のネーデルラントから派遣される使節が、ヨーロッパの平和構築の際に果たす役割を研究している。

(Yoshinobu Kudo)

講師 **工藤 義信** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 原典講読Ⅰ・Ⅱ 英米文学概論Ⅱ 英米文学演習Ⅰ 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 英語プレゼンテーション初級Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 慶応義塾大学、University of York
- ③ 学 位 : 修士(文学)、修士(MA in Medieval Literatures)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本中世英語英文学会 西洋中世学会
- ⑤ E-mail : y-kudo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ Modernizing the Lesson: A Note on Peter Idley's Instructions to his Son, II. A. 1392-98' 『金沢学院大学紀要』16 (2018) ◇ 'Chaucer's *Second Nun's Tale* and the Problem of Lay and Religious Self-Formation', 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会), 106 (2014), 1-16; ◇ 'Shrewd Negotiation in the Guise of *Gentillesse* in Chaucer's *Franklin's Tale*', *Poetica: An International Journal of Linguistic-Literary Studies* (雄松堂), 77 (2012), 27-46; ◇ 'The Complex Personality of Chaucer's Reeve and the Problems of Subjectivity Represented in his *Tale*', 『藝文研究』, 102 (2012), 1-20; ◇ 'Undefined Values of the Merchant Class in Chaucer's *Shipman's Tale*', *Colloquia* (慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻『コロキア』同人), 31 (2010), 17-34

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

14世紀英詩人ジェフリー・チョーサーの『カンタベリー物語』を作品成立当時の社会史的な文脈から読み解く研究を進めています。14世紀・15世紀イングランドの文学と社会との関係や、階級意識、道徳意識の問題に関心を持っています。

(Mamoru Konishi)

講師 **小西 護**



- ① 担当科目 : 特別活動
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院教育学研究科
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 金沢近代文芸研究会
- ⑤ E-mail : konishi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ 「作品論・梶井基次郎」(昭和63年・私家版) ◇ 「天上の舞」(随想録)(平成19年・私家版)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近代文学の作家・作品研究

(Satoshi Sasaki)

講師 **佐々木 聡**



- ① 担当科目 : 東洋史概説 I・II 東洋史文献講読 東洋史演習 東洋史特殊講義 史学概論 スタディスキルズゼミ I キャリアデザイン I
- ② 出身学校 : 金沢大学、東北大学大学院
- ③ 学 位 : 博士 (文学)
- ④ 所属学会 : 北陸史学会 東アジア恠異学会 日本中国学会 日本道教学会 東方学会
- ⑤ E-mail : s-sasaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『復元白沢図：古代中国の妖怪と辟邪文化』（白澤社、2017年）◇「《礼緯含文嘉・精魅篇》的辟邪思想与鬼神観」（中国語、『復旦学報（社会科学篇）』2014年・第5期）◇「『天元玉曆祥異賦』の成立過程とその意義について」（『東方宗教』第122号、2013年）◇「『開元占経』の諸抄本と近世以降の伝来について」（『日本中国学会報』第64集、2012年）◇「漢代の呪詛事件に見える巫者と「婢」の存在形態について」（『集刊東洋学』第99号、2008年）

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

儒教理念の一つである祥瑞災異思想を背景とした占術文化の研究。特に、中国歴代王朝における統制管理と社会受容の実態、東アジア諸国への伝播状況などについて。

(Yukari Matsumura)

講師 **松村 祐香里**



- ① 担当科目 : 英米文学概論 I 英米文学講読 I・II 英米文学演習 I 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学文学部、慶應義塾大学大学院文学研究科
- ③ 学 位 : 修士 (文学)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本ミルトン協会 十七世紀英文学会
- ⑤ E-mail : y-matsumura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇‘The Reprobate in Paradise Lost : Milton’s Satan and the Crisis of Conscience’（慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻 『Colloquia』, 35 (2014), 105-114）◇「『失樂園』における無常観—スペンサーとの比較を通して見る自由意思の重要性」、『藝文研究』（慶應義塾大学藝文学会）、112（2017）、226-235頁

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ジョン・ミルトンの『失樂園』を中心に、17世紀イギリスの文学を研究しています。樂園の表象や無常観を読み解くことで、宗教的にも政治的にも大きく変動した17世紀のイギリスを生きた人々のメンタリティーを明らかにしたいと考えています。

(Hiroto Murohashi)

講師 **室橋 弘人**



- ① 担当科目 : 社会心理学演習 社会心理学 心理学統計法 I 社会調査法 心理学実習 (調査・実験) ビジネスと心理学 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学
- ③ 学 位 : 博士 (文学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本行動計量学会 他
- ⑤ E-mail : murohashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇”Trajectories of Early Television Contact in Japan: Relationship with Preschoolers’ Externalizing Problems.” (Journal of Children and Media 9(4), 2015 年) ◇”Model Specification Search Using a Genetic Algorithm with Factor Reordering for a Simple Structure Factor Analysis Model.” (Japanese Psychological Research 49(3), 2007 年) ◇「構造方程式モデリングによる一対比較法の分析-シェッフェの方法とその改良-」(心理学研究 75 (4), 2004 年) ◇「縦断データの分析 I -変化についてのマルチレベルモデリング-」(分担翻訳、朝倉書店、2012 年) ◇「新・発達心理学ハンドブック」(分担執筆、福村出版、2016 年) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

青少年の発達に関する繰り返し測定データの分析、機械学習の心理学への応用

(Yoshiyuki Morimoto)

講師 **森本 哲介**



- ① 担当科目 : 臨床心理学 心身の健康と心理 心理学実習 (検査法) 心理学実習 (面接法) 心理学実習 (調査法) 臨床心理学演習 I・II プレ卒業研究演習 卒業研究
- ② 出身学校 : 立正大学
- ③ 学 位 : 博士 (心理学)
- ④ 所属学会 : 日本心理臨床学会 日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 日本パーソナリティ心理学会 他
- ⑤ E-mail : yoshi-m@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇自己形成支援プログラムの有用性—高校生女子を対象とした強みの活用による介入— (教育心理学研究、63 巻、181-191、2015 年)
◇「強み(Strengths)」を活用する介入が大学 1 年生の自己形成意識に与える効果 (学校メンタルヘルス、17 巻、39-49、2014 年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ストレングス(強み)を活かした心理学的介入法の研究
青年期の心理的成長の支援に関する研究

(Richard Grassi)

講師 **Richard Grassi**



- ① 担当科目 : English Communication I・II English Writing
Japanese Culture through English World Culture
through English I・II 他
- ② 出身学校 : Humanities University
- ③ 学 位 : 人文学博士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : grassi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

English Language textbook- “Shift the Focus” “Felicity 2” “Felicity 1”
Humanities books- “Sketches of the Cotswolds” “A Scribbled Response”

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

“Let’s Eat Bugs” “Purpley-Pink House” (series of five children’s books)
“Goobee Da Loon” (series of three children’s books) “The ART of Presentation: Japanese
Teacher Training Workshop”, Kanazawa

(Atsushi Okuizumi)

講師 **奥泉 敦司**



- ① 担当科目 : 保育者論 フレッシュマンセミナー 保育インターンシ
ップ
- ② 出身学校 : 埼玉大学、上越教育大学大学院
- ③ 学 位 : 修士(教育学)
- ④ 所属学会 : 日本学校教育学会 教育哲学会 日本保育学会 日本教
師教育学会 日本乳幼児教育学会 日本保育者養成教育
学会 上越教育経営研究会
- ⑤ E-mail : okuizumi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇現職保育士・幼稚園教諭の研修に関する一考察(共著) ◇教員養成における教育哲学の有用
性に関する調査研究—学生は何を求め、何を学ぶのか—(共著) ◇養育場面における幼児の反
応と批判的思考に関する実証的研究—「ほめる・叱る」行為における養育者の態度の考察を通し
て—(単著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇保育者志望学生の教育観の形成過程に関する研究 ◇保育理論の思想史的変遷に関する研究
◇保育環境整備に関する政策変遷に関する研究

(Maki Nagumo)

講師 **南雲 まき**



- ① 担当科目 : 図画工作 造形 I・II 他
- ② 出身学校 : 東京学芸大学、東京学芸大学大学院
- ③ 学 位 : 修士 (教育学)
- ④ 所属学会 : 大学美術教育学会 美術科教育学会 国際幼児教育学会
- ⑤ E-mail : nagumo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇院内学級の実践から読み解く美術教育の意義と可能性 (『大学美術教育学会誌美術教育学研究 47』 大学美術教育学会) ◇美術における「個性化」教育についての考察 (『大学美術教育学会誌美術教育学研究 48』 大学美術教育学会) ◇ ふれる・もつ・かんじるー展覧会実践からの考察 (『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第65集』 東京学芸大学学術情報委員会) ◇ ふれる・もつ・かんじる II : ワークショップという美術教育実践の可能性 (『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第67集』 東京学芸大学学術情報委員会) ◇造形美術教育科目のアクティブ・ラーニングについての考察 (『東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第68集』 東京学芸大学学術情報委員会)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

美術を中心とする多様な表現教育

(Akiko Noritomi)

講師 **乗富 章子**



- ① 担当科目 : 音楽基礎 フレッシュマンセミナー
- ② 出身学校 : 金沢大学教育学部
- ③ 学 位 : 教育学士
- ④ 所属学会 : 日本音楽教育学会
- ⑤ E-mail : noritomi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

おとづくり・音楽づくりのメソッド開発

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

小学校教員育成課程における音楽科の授業について

(Mari Muramatsu)

講師 **村松 麻里**



- ① 担当科目 : 英語 I・II 英語プレゼンテーション初級 I・II 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学第二文学部、立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科
- ③ 学 位 : 修士 (異文化コミュニケーション学)
- ④ 所属学会 : 小学校英語教育学会 日本児童英語教育学会 絵本学会 他
- ⑤ E-mail : m-muramatu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

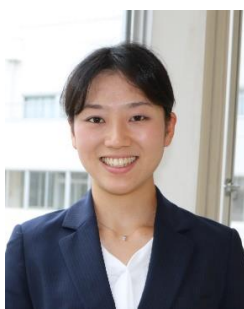
◇「英語教育における絵本の活用に関する考察—Real Books, Reading Schemes, ELT 絵本の比較分析を通して」『異文化コミュニケーション論集』第 8 号、pp. 57-72、2010 年 ◇「子ども達の声・つぶやきにみる物語の受容過程： 小学校 3 年生「読書」授業の談話分析を通して」「言語と人間」研究会 (編)『ことばと人間』第 10 号、pp. 105-123、2015 年 ◇「小学校英語教育におけるホール・ランゲージ型の学びの可能性：新学習指導要領を踏まえて」共創対話学習研究所機関誌『未来を拓く教育実践学研究』第 1 号、pp. 83-92、2016 年 ◇「小学校英語教育における協働的な学びの試み—絵本の『暗唱チャレンジ』の事例から—」『杏林大学研究報告—教養部門—』34 巻、pp. 65-74、2017 年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

小学校英語教育

(Kanao Edamoto)

助教 **枝元 香菜子**



- ① 担当科目 : 体育 I・II フレッシュマンセミナー 書道 (書写実習)
- ② 出身学校 : 東京学芸大学教育学部、東京学芸大学大学院教育学研究科 保健体育専攻
- ③ 学 位 : 修士 (教育学)
- ④ 所属学会 : 日本体力医学会 日本学校教育学会 日本武道学会 日本発育発達学会
- ⑤ E-mail : edamoto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「日常生活下における身体活動の増加が閉経後女性の食後中性脂肪濃度に及ぼす影響」『体力科学』第 64 号 (枝元 香菜子、Jung Hyun-Hun、城所 哲宏、柳岡 拓磨、柏原 杏子、高橋 将記、宮下 政司、日本体力医学会、2015 年) ◇「身体活動量を高め運動継続に繋げるための体育授業に関する一考察」『人と教育』第 11 号 (単著) (目白大学教育研究所、2016 年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

子どもの身体活動量の向上にむけた取り組み、体育科教育、健康教育

金沢学院大学 経営情報学部

学部長 高橋 啓

	教授	准教授	講師	助教
経営情報学科	阿手 雅博	岩井恒太郎	深堀遼太郎	
	石川 温	大野 尚弘	米澤 順一	
	井手 秀樹	福田 裕一		
	奥井めぐみ	渡邊 誠士		
	○桑野 裕昭			
	高橋 啓			
	竹村 裕樹			
	田中 晴人			
	中島 真澄			
	根本 博			
	森 浩一			

○：学科長

(五十音順)

(Hiroshi Takahashi)

教授 **高橋 啓** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ 地域課題研究Ⅲ 経営分析 国際経営基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習 他
- ② 出身学校 : 東北大学 法政大学大学院公共政策研究科
- ③ 学 位 : 博士(公共政策学)
- ④ 所属学会 : 日本公共政策学会 医療経済学会 日本医療経営学会 日本介護経営学会 医療マネジメント学会
- ⑤ E-mail : h-takaha@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「繊維産業政策の変遷と基礎自治体による産業政策の可能性」『サステイナブルな地域と経済の構想』第3章, 2016年2月, 御茶ノ水書房 ◇「北陸の特徴を活かした産業創出と企業誘致の方向性に関する考察」2018年3月『金沢学院大学紀要』No. 16 ◇「金沢マラソンランナーアンケートにみるマラソン参加者の観光動向」2018年3月『金沢学院大学紀要』No. 16 ◇「地域医療行政における自治体－公立病院間関係に関する考察」2013年10月『法政大学大学院紀要』No. 71、p257-277

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①地域経営②公立病院のガバナンス

(Atushi Ishikawa)

教授 **石川 温** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ活用演習 情報処理演習 経営情報活用演習Ⅰ・Ⅱ 情報処理基礎演習
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(理学)
- ④ 所属学会 : 日本物理学会
- ⑤ E-mail : ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Comparison between Spatial Distributions of Tweet Base and Population in Japan, 2017 IEEE International Conference on Big Data (2017) 掲載予定.
◇Transition Law of Firms' Activity and the Deficit Aspect of Non-Gibrat's law, JPS Conference Proceedings, Vol 16 (2017) 011005, 10.7566/JPSCP.16.011005.
◇Dependence of the decay rate of firm activities on firm age, Evolutionary and Institutional Economics Review (2017) DOI 10.1007/s40844-017-0084-3

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

経済物理学

(Hideki Ide)

教授

井手 秀樹

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 産業組織論 産業組織研究 他
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院博士課程単位取得退学
- ③ 学 位 : 経営学修士
- ④ 所属学会 : 公益事業学会 日本経済政策学会 国際公共経済学会
日本経済学会
- ⑤ E-mail : ide@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「日本郵政—JAPAN POST」2015年 東京経済新報社
- ◇「次世代のエコカー『天然ガス自動車』—ポストフクシマの選択」2013年エネルギーフォーラム社
- ◇「郵政上場後の課題」2015年11月日本経済新聞社「経済教室」
- ◇「電力・ガスシステム改革と課題」石油学会『ペトロテック』2016年2月
- ◇「タクシー事業における規制緩和から再規制」『三田商学研究』2012年12月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①電力・ガス自由化 ②競争政策と独占禁止法

(Megumi Okui)

教授

奥井 めぐみ

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経済学の基礎 ミクロ経済学 マクロ経済学 労働経済学
経営情報学特講Ⅱ 演習 基礎演習 他
- ② 出身学校 : 大阪大学
- ③ 学 位 : 国際公共政策博士
- ④ 所属学会 : 日本経済学会 日本労務学会
- ⑤ E-mail : m-okui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「昇進のタイミングと努力水準—独自データに基づく実証分析」金沢学院大学紀要第16号、2018年
- ◇「独自アンケートの集計値から見る職場経験と労働者のインセンティブの男女差」金沢学院大学紀要第15号、2017年
- ◇「集計データからみる昇進インセンティブ」金沢学院大学紀要第14号、2016年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本企業の管理職昇進システムとやる気に関する実証分析

(Hiroaki Kuwano)

教授 **桑野 裕昭** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : プログラミング基礎/プログラミングⅡ/マルチメディアコミュニケーション/演習/基礎演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院自然科学研究科
- ③ 学 位 : 博士(工学)
- ④ 所属学会 : 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本数学会 日本知能情報ファジィ学会
- ⑤ E-mail : kuwano@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおける対策すべきリスクの選択について、「確率的環境下における数理モデルの理論と応用」RIMS 講究録 2044, 171-181, 2017 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおけるリスク対策の数理モデル化, 「(不確実・不確定性の下での数理意思決定モデルとその周辺)1990, 230-237, 2016
◇ファジィ集合値写像の導写像について, 「不確実性の下での数理モデルとその周辺」1939, pp. 209-214, 2015 ◇プロジェクト・リスクにおける汎用的フレームワークについて, 「不確実性の下での数理モデルとその周辺」RIMS 講究録 1939, pp. 162-171, 2015 ◇プロジェクト・リスク・マネジメントにおける遅延時間に関する一考察, 「不確実性の下での数理的意思決定の理論と応用」RIMS 講究録 1912, pp. 112-120, 2014

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①人間の曖昧な認識に基づく情報環境での意思決定 ②意思決定にかかわる諸問題のモデル化とその分析 ③プロジェクト・リスク・マネジメントの数理的解析

(Hiroki Takemura)

教授 **竹村 裕樹**



- ① 担当科目 : 都市計画論Ⅰ・Ⅱ 都市経営と経済Ⅰ・Ⅱ 観光と地域創生Ⅰ・Ⅱ 地域課題研究Ⅱ・Ⅳ 金沢まち学Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 工学士
- ④ 所属学会 : 日本都市計画学会 土木学会 日本技術士会 都市環境デザイン会議 金沢日仏協会 他
- ⑤ E-mail : hrk-take@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇石川県都市計画マスタープラン策定 ◇石川県景観総合条例制定・指針策定 ◇香林坊地区市街地再開発事業 ◇金沢外環状道路計画及び事業 ◇金沢副都心整備計画及び事業 ◇金沢都市圏都市交通計画(P&R・新交通システム)策定 ◇「地方都市の再生戦略」共著 2013年 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①北陸新幹線金沢開業を活かした地域活性化方策 ②人口減少・少子高齢化時代の都市計画 ③産学官連携や大学間交流によるまちづくりの実践 ④歴史と文化伝統を活かした風格のあるまちづくり

(Haruto Tanaka)

教授 **田中 晴人** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ 経営管理論Ⅰ・Ⅱ ビジネス戦略 経営組織論 経営学特論 経営戦略研究 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 経済学修士
- ④ 所属学会 : 日本経営学会 組織学会 実践経営学会
- ⑤ E-mail : mtanaka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「チャンドラーの組織能力概念について」(金沢学院大学紀要第16号)
- ◇「経営資源の諸概念と『アクティブな経営能力』について」(金沢学院大学紀要第10号)
- ◇「資源ベース・アプローチの意義と問題点」(金沢学院大学紀要第9号)

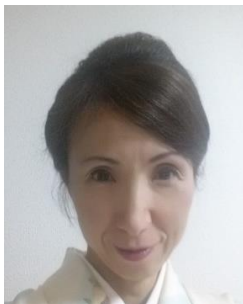
II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

経営戦略に関する研究

経営資源に関する理論研究

(Masumi Nakashima)

教授 **中島 真澄** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 財務管理 監査 学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 会計学特論 会計システム研究 他
- ② 出身学校 : 南山大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(経営学)
- ④ 所属学会 : 日本会計学研究学会 日本経営分析学会 日本ディスクロージャー研究学会理事 日本経営財務学会 米国会計研究学会 他
- ⑤ E-mail : n-masumi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Earnings Management and Earnings Quality: Evidence from Japan. 白桃書房, 2015年3月.
- ◇『利益の質とコーポレート・ガバナンス』白桃書房, 2011年3月. 研究論文 ◇Why Should the Forensic Accounting Be Needed in Japan?: Toward a No Accounting Fraud Community, Meiji Business Review, 65(1), March 2018. 査読付論文 ◇The Tone at the Top and a Shifts in Earnings Management -Evidence from Japan-, with David, A. Ziebart. The Journal of Forensic and Investigative Accounting 8(2), Special Issue, May 2016. ◇Systems Integration, Management Involvement and Quality of Internal Controls and Auditing, with Shin'ya Okuda, Asia-Pacific Management Accounting Journal (APMAJ), 10 (1), June 2015. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ◇科学研究費助成事業(基盤研究(C)16K03997号)「ガバナンス改革が財務報告の質に与える影響」(研究代表者:中島真澄) ◇日本ディスクロージャー研究学会、特別プロジェクト「法廷会計学の創成 - 会計不正理論と実務教育との融合」(主査:中島真澄)

(Hiroshi Nemoto)

教授 **根本 博** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 日本経済論 I・II 財政論 経済政策 経済学 I・II 経済学の基礎 日本経済特論 財政学特論 地域経済研究
- ② 出身学校 : 東京大学経済学部
- ③ 学 位 : 経済学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : nemoto@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇単著：『人にやさしい経済学』（北國新聞社 2015.4）
- ◇編著：『ボランティア経済と企業』（日本評論社 2002.9）
- ◇執筆責任者：『地域経済レポート』（大蔵省印刷局、1991.5、1992.5）
『離島振興ハンドブック』（大蔵省印刷局、1996.3）

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本経済の現状と課題 ② 北陸経済の現状と課題 ③ 市場を補完するボランティア経済の役割

(Kouichi Mori)

教授 **森 浩一** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 税法 税務会計 演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 学士(経済学)
- ④ 所属学会 : 日本租税訴訟学会
- ⑤ E-mail : k-mori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「国税収納金整理資金法の解説（一、二、三）」（会計と監査 1983 年）
- ◇「税務行政と国家賠償」（税大ジャーナル 2011 年）
- ◇「租税回避への対応」（金沢学院大学紀要 第12号 2014 年）

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①消費税法
- ②国税通則法
- ③所得税法

(Koutaro Iwai)

准教授 **岩井 恒太郎** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 会計学基礎Ⅰ・Ⅱ 財務会計Ⅰ・Ⅱ 税法 会計実務Ⅰ・Ⅱ 学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 横浜国立大学経営学部 立教大学大学院経済学研究科
- ③ 学 位 : 修士(経済学)
- ④ 所属学会 : 税務会計研究学会 日本簿記学会 日本会計研究学会 国際ビジネス学会
- ⑤ E-mail : k-iwai@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「任意組合・LLP・LLCの税制～構成員課税その理論と課題～」2007年10月(財)納税協会連合会30～79頁 ◇「事業組織形態の多様化と適用税制—構成員課税か法人課税か、その峻別基準を求めて—」2019年9月『税務会計研究』第20号 税務会計研究学会編347～356頁 ◇「IFRS導入と税務会計への影響—自国会計基準の存置について—」2010年3月『立教経済学研究』第63巻 第4号17～42頁 ◇「IFRS導入と作成主体へのインパクト」2010年8月『税務会計研究』第21号 税務会計研究学会編165～170頁 ◇「わが国のIFRS導入と法的な対応の可能性 —「連単分離」と「複数会計基準」による円滑な受容を求めて—」2012年7月『立教経済学研究』第66巻 第1号85～110頁 ◇「わが国のIFRS導入と複数会計基準の切り分けについて—課税所得計算等に与える影響を考慮して—」2013年9月『税務会計研究』第24号 税務会計研究学会編179～184頁所収 ◇「多様化する事業体と適用税制～日本版LLCと日本版LLPを取り上げて～」2016年7月「税研」188号(Vol. 32-No. 2) 98～104頁 ◇「わが国税務会計教育をめぐる現状と課題(下)」2017年1月『立教経済学研究』第70巻 第3号101～112頁(執筆担当分)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①事業体課税 ②税法と企業会計の関係

(Takahiro Oono)

准教授 **大野 尚弘** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 流通論 消費者行動論 マーケティング研究 マーケティング特論 ベンチャービジネス論 他
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科
- ③ 学 位 : 修士(商学)
- ④ 所属学会 : 日本商業学会
- ⑤ E-mail : oono@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『PB戦略 その構造とダイナミクス』千倉書房、2010年 ◇「プライベートブランド開発における品質向上の取り組み」『金沢学院大学紀要』第15号、2017年 ◇「セブン-イレブンにおける品質重視型プライベートブランド開発の背景」『金沢学院大学紀要』第13号、2015年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①プライベートブランド(PB)開発における課題 ②インターネット通販企業のPB開発

(Hirokatsu Fukuda)

准教授 **福田 裕一** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 経営システム論Ⅰ・Ⅱ 情報技術基礎Ⅰ・Ⅱ 経営システム分析Ⅰ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 演習 システム科学特論
- ② 出身学校 : 金沢学院大学大学院
- ③ 学 位 : 修士(経営情報学)
- ④ 所属学会 : プロジェクトマネジメント学会 日本経営工学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会
- ⑤ E-mail : h-fukuda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「プロジェクト・リスク・マネジメントにおける対策すべきリスクの選択について」、『確率的環境下における数理モデルの理論と応用RIMS 講究録2044』, pp. 171-181, 2017. ◇「プロジェクト・リスク・マネジメントにおけるリスク対策の数理モデル化」、『不確実性の下での数理モデルとその周辺 RIMS講究録1990』, pp. 230-237, 2016 ◇「プロジェクト・リスク・モデルを用いたリスク対策の効果の算出について」、『OR学会2016年春季研究発表会 アブストラクト集』, pp. 287-288, 2016 ◇「New mathematical model about the relation between the project risks and the time」, 『The 27th European Conference on Operational Research』, 2015 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

プロジェクト・リスク・マネジメントに関する数理モデルの構築とその応用に関する研究

(Masashi Watanabe)

准教授 **渡邊 誠士** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 会計学基礎Ⅰ・Ⅱ 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ 簿記Ⅱ 原価計算 国語表現 他
- ② 出身学校 : 京都大学
- ③ 学 位 : 修士(経済学)
- ④ 所属学会 : 日本会計研究学会 会計理論学会 日本ディスクロージャー研究学会 財務会計研究学会 公益事業学会
- ⑤ E-mail : w-masashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「ストック・オプション取引と会計主体—ストック・オプションの資産性に関する理論的考察—」『会計理論学会年報』第29号, 2015年 ◇「ストック・オプションの会計処理と税務処理に関する一考察」『財務会計研究』第10号, 2016年 ◇「ストック・オプション費用の比較可能性に関する実証研究—株式報酬型ストック・オプション費用に対する市場評価への注記情報の利用—」『経済論叢』第190号第1巻, 2016年 ◇「ストック・オプション会計における対応概念の役割—対応概念の有用性の再検討—」『会計理論学会年報』第30号, 2016年 ◇「日本郵便の統合効果—財務諸表分析を通して—」『公益事業研究』第68巻第3号, 2016年 ◇「ストック・オプション費用の収益・費用対応への影響」『経済論叢』第191巻第3号, 2017年 ◇「日本郵政の株式上場と企業価値推定」『公益事業研究』第66巻, 第1号, 2014年 (共著) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ストック・オプション会計, 日本郵政グループ, 会計制度の比較制度分析

(Ryotaro Fukahori)

講師 **深堀 遼太郎**



- ① 担当科目 : 経済学の基礎 公共経済学 国際経済 金融論 I・II 環境経済学 基礎演習 I・II 演習 地域課題研究 I 学修基礎 I・II・III・IV
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学大学院商学研究科
- ③ 学 位 : 修士 (商学)
- ④ 所属学会 : 日本経済学会 生活経済学会
- ⑤ E-mail : fukahori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「正規就業女性の育児休業期間に関する要因分析」『生活経済学研究』, 第46巻, pp. 39-54, 2017. (単著) ◇"The Effects of Incidence of Care Needs in Households on Employment, Subjective Health, and Life Satisfaction among Middle-aged Family Members," Scottish Journal of Political Economy, Vol. 62, Issue 5, pp. 518-545, 2015. (共著) ◇"Labour Market Transitions in Italy: Job Separation, Re-employment and Policy Implications." OECD Economics Department Working Papers, No. 1291, pp. 1-44, 2016. (共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

マイクロデータ (主に家計パネルデータ) を用いた次の実証研究。①政策とワークライフバランス ②労働市場の質 ③金融市場の質

(Junichi Yonezawa)

講師 **米澤 順一**



- ① 担当科目 : 会計学基礎 I 商業簿記 I・II 工業簿記 I・II 基礎演習 I・II 演習 情報活用演習 他
- ③ 出身学校 : 金沢大学経済学部 金沢学院大学大学院
- ④ 学 位 : 修士 (経営情報学)
- ⑤ 所属学会 :
- ⑥ E-mail : yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「ストック・オプション会計の問題点に関する一考察」金沢学院大学平成 18 年度修士論文
- ◇「わが国における退職給付会計の展開 (1)」金沢学院大学紀要第 12 号 (2014)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 退職給付会計 ②簿記の教授法

金沢学院大学 芸術学部

学部長 飯田 栄治

	教授	准教授	講師	助教
芸術学科	飯田 栄治	荒川 昭広	村谷 聡志	
	○市島 桜魚	越田 久文	吉田 一誠	
	西田 伸一	児島新太郎		
	丹羽 俊夫	羽場 文彦		
	平木 孝志	広根 礼子		
	棒田 邦夫	柳橋 広司		
	山崎 達文			

○：学科長

(五十音順)

(Eiji Iida)

教授 **飯田 栄治** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : メディア基礎 CG活用演習 CG応用演習 ゲームデザイン メディアコンテンツ制作論 アニメーション演習Ⅲ 知能データベース特論 ヒューマンシミュレーション特論 卒業制作・研究Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
- ③ 学 位 : 情報科学博士
- ④ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 人工知能学会
日本シミュレーション学会
- ⑤ E-mail : e-iida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇“人間の持つ解決戦略を利用した問題解決システム” 情報処理学会、第6回数理モデルと問題解決のシンポジウム論文集 2000.3 ◇“N2-1 パズルのスケールダウン解法” 電子情報通信学会和文論文誌 1998.7 ◇“A system to Perform Human Problem Solving” The 5th International Conference on Soft Computing and Information / Intelligence Systems, 1998.10 ◇メッセージプロジェクション システム 出展 愛知万博 2005.5 ◇“メッセージプロジェクション装置の制作とその効果について” エンタテインメントコンピューティング 2005.9 ◇金沢城辰巳櫓 3DCG制作(2007、石川県、北國総研) 金沢市内小学校 DVD 配布 ◇“電子掛け軸” エンタテインメントコンピューティング 2008.9 (金沢 21世紀美術館) ◇“「かげおくり」システム デモ エンタテインメントコンピューティング” 2009.9 (東京大学) ◇“快適で美しいまちづくり推進の金沢らしい表示物に関する研究” 2013.3 (金沢市) ◇“石川県の伝統文化の魅力海外発信プロジェクト” 2016.3(石川県)他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①デジタルアート及びバーチャルリアリティシステムの研究 ②地域魅力発見発信研究(地域学)

(Ougyo Ichishima)

教授 **市島 桜魚**



- ① 担当科目 : 工芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 絵画工芸基礎 美術表現法 卒業研究
金沢まち学特講 就職基礎講座 就職対策講座 他
- ② 出身学校 : 石川県立金沢二水高等学校
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 : (公社)日本工芸会 日本文化財漆協会 石川県美術文化協会
- ⑤ E-mail : ougyo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇1990 第37回日本伝統工芸展 優秀賞(NHK会長賞)蒔絵「秋の野」小箆筒 ◇1992 第39回日本伝統工芸展 優秀賞(朝日新聞社賞)平文「星螢」重ね箱 ◇1993 第10回日本伝統漆芸展 蒔絵「盛秋」八角箱 紀文美術館買上げ、ステッセルのピアノ復元における蒔絵制作 ◇1994 第50回石川県現代美術展 最高賞(技術賞)および50周年記念美術文化大賞 蒔絵「渦波」箱 ◇1995 第12回日本伝統漆芸展 蒔絵「宙」箱 宮内庁買上げ ◇1996 第13回日本伝統漆芸展 蒔絵「閃光」八角箱 国際国流基金買上げ ◇1998 第54回石川県現代美術展 委嘱賞 蒔絵「円」色紙箱 金沢市買上げ ◇1999 名古屋、'01 '06 '10 東京、'08 金沢にて個展

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①「平文」および「引っかき」の技法による表現の可能性 ②「漆芸・漆器、漆を塗る」がイコール「japan」であることの意味 ③「KOGEI」としての認識と発信の在り方について

(Shinichi Nishida)

教授 **西田 伸一**



- ① 担当科目 : 絵画工芸基礎 デッサン 絵画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 卒業制作・研究
Ⅰ 絵画表現法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 光風会会員・理事 日展会員 日本美術家連盟会員
- ⑤ E-mail : nishida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇1990 光風会展光風奨励賞「刻・SARA」 ◇1992 日展初入選「刻・N氏の家族」
- ◇1993 光風会展光風奨励賞「刻・1993の肖像」 ◇1998 光風会展会友賞「刻・遠い風」
- ◇2001 光風会展会員賞「刻・刻・刻」 ◇2003 日展特選「刻・遠いみち」
- ◇2004 光風会展会員賞「刻・遠い季節」 ◇2005 光風会展会員賞「白い刻・Ⅰ」
- ◇2007 日展特選「思秋」 ◇2012 現代美術展委嘱賞「爽」
- ◇2012 光風会展文部科学大臣賞「風の季節に」

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

油彩・アクリルによる人物を通しての写実絵画

(Toshio Niwa)

教授 **丹羽 俊夫**



- ① 担当科目 : 絵画表現法Ⅰ・Ⅱ 地域美術史 模写演習 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 一般社団法人新日本美術院代表理事 新院展名誉会長
日創会会長
- ⑤ E-mail : niwa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇1982 外務大臣賞(第18回亜細亜現代美術展) ◇1984 石川県能楽文化会館別館能舞台鏡板絵制作
- ◇「昭和58年度芸術文化に活躍された人々の懇談のつどい」内閣総理大臣主催園遊会招待
- ◇1985 安田火災美術財団奨励賞 ◇1987 国際芸術文化賞(日本文化振興会) ◇1989 文部大臣奨励賞(第25回亜細亜現代展)
- ◇1997 新日本美術院作家大賞(第29回神院展) ◇1998 石川県松任市(現白山市)新庁舎壁画制作
- ◇2005 北國新聞社赤羽ホール「金沢大観図屏風」六曲一双制作
- ◇2009 第63回北國文化賞 ◇2010 文部科学大臣教育功労賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本絵画思想の表現と技法 ② 日本美術文化思想の技と美

(Takashi Hiraki)

教授 **平木 孝志**



- ① 担当科目 : 日本美術史 日本美術特論 東洋美術史 東洋美術特論
絵画表現法 I・II 伝統文化研究 金沢まち学特講 卒業制作・研究 I 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 美術史学会 儀禮文化学会 茶の湯文化学会 公益法人
日展 新日春会
- ⑤ E-mail : t-hiraki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇源氏物語香函全五十四帖制作
- ◇長瀬神社（新潟県加茂市）天井画90面・絵馬制作
- ◇本因寺（金沢市寺町）天井画40面・龍図・襖絵制作
- ◇日展特選受賞2回
- ◇日春展受賞3回

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①茶の湯文化の研究 ②茶会の取合せの研究 ③加賀茶道史の研究 ④現代日本画の制作発表
- ⑤古典日本画表現の制作

(Kunio Bouda)

教授 **棒田 邦夫**



- ① 担当科目 : 基礎造形論 I・II 生活デザイン DTP デザイン ウェブ
デザイン I・II 卒業制作・研究 I 他
- ② 出身学校 : 愛知県立芸術大学大学院美術研究科
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 日本インテリア学会
- ⑤ E-mail : bouda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇壁ダンボール紙による椅子の考察及びダンボール紙椅子制作で奨励賞受賞 ◇木構造でつくる音楽室の遮音（日本インテリア学会第14回大会で研究発表） ◇「スケッチブック OneDay 金沢」で、石川県デザイン展銀賞受賞 ◇（株）ショーワノートとの産学連携事業で「前田利家ダンボール甲冑」販売

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①かなざわ文化を用いた文具デザイン（ポチ袋、年賀はがき、双六 etc）
- ②かなざわの街を描いた仕掛け絵本の制作
- ③地域文化を題材とした大人の「ぬりえ」の制作
- ④学生の自炊に対する意識調査の研究
- ⑤現代若者のキッチン事情の研究
- ⑥高齢化社会に必要とするデザインの行方の研究

(Akihiro Arakawa)

准教授 **荒川 昭広**



- ① 担当科目 : ビジュアルデザイン 色彩学 CG 実習 芸術表現基礎
デッサン 絵画表現法Ⅲ メディアデザイン論 WEB 活用演習Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 日本デザイン学会 大学美術教育学会
- ⑤ E-mail : arakawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇デザイン教育におけるアクティブラーニングの実践
- ◇美術とメディアデザインを融合した授業の導入計画
- ◇美術とメディアデザインを融合した複合的な学び
- ◇デジタルイラストレーションによる絵画的表現「リアル背景画～写真から絵画へ」
- ◇中高美術科教育における表現テーマの考察～現代美術作品の模倣による制作指導～

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

美術とデザインを融合した学び
地域における美術デザインの役割について

(Hisafumi Koshida)

准教授 **越田 久文**



- ① 担当科目 : 映像論 映像メディア表現演習 映像制作Ⅰ・Ⅱ ムービータイ
グラフィック Web デザイン 卒業制作・研究Ⅰ メディアプロデュース
論 アニメーション演習Ⅰ ウェブデザイン演習 他
- ② 出身学校 : 北九州市立大学 中退 専攻:メディア学
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : koshida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇卒業研究主要テーマ:ブロードキャスト(放送)とインターネットの補完性
- ◇視聴者参加番組のリアルタイム投票・集計システム設計
- ◇ECサイト「金沢屋」設計・開発

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

上デジタル放送時代における、ネットと放送の融合

(Shintaro Kojima)

准教授 **児島 新太郎**



- ① 担当科目 : 芸術表現基礎 絵画工芸基礎 近代美術史 デッサン 洋画 II・III 絵画実習 絵画II・IV 絵画表現法II・IV 卒業制作・研究I 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科絵画専攻
- ③ 学 位 : 修士(芸術)
- ④ 所属学会 : 一般社団法人光風会
- ⑤ E-mail : s-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2012年 第44回日展 特選受賞
- ◇2013年 都美セレクション 新鋭美術家2013選抜(東京都美術館)
- ◇2014年 改組新第1回日展 特選受賞
- ◇2015年 第101回光風会展 文部科学大臣賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

画面上に現実と虚構を描くことで実体のない意志の存在を示す制作、更には画面そのものが祈りの形となることを求めて研究活動をしています。

(Fumihiko Haba)

准教授 **羽場 文彦**



- ① 担当科目 : 芸術表現基礎 工芸III・IV 工芸表現法II・IV 絵画工芸基礎 工芸実習 近現代美術史 美術表現法 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : fumihaba@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇2005、6年 (東京・銀座・フタバ画廊)
- ◇2009, 10, 11, 12, 14, 15, 17年 (東京・神宮前・トキアートスペース)
- ◇2011年 (東京・銀座・ギャラリーSOL)
- ◇2013年 (東京・京橋・LIXILギャラリー ガレリアセラミカ) 等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①土の持つ可能性を引き出した造形制作 ②量産技法を使用した作品の展開
- ③ギャラリー等での作品発表 ④教育素材の研究と授業での活用

(Ayako Hirone)

准教授 **広根 礼子**



- ① 担当科目 : 芸術表現基礎 学修基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ メディアデザイン論
デザイン基礎 視覚伝達論 デザイン演習Ⅲ 複合表現演習
Ⅰ・Ⅱ 卒業制作・研究Ⅰ 色彩とデザイン 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : アートミーツケア学会 金沢アートディレクターズクラブ
- ⑤ E-mail : hirone@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇2009年 雪のデザイン賞 ラネージュ賞
- ◇2010年 工芸都市高岡2010クラフト展 入選
- ◇2012年 工芸都市高岡2012クラフト展 入選
- ◇2013年 「生活工芸/金沢」展、乙女の金沢展
- ◇2014年 Kanazawa ADC 2014 入選、「FAST&SMART」展、乙女の金沢展
- ◇2015年 Kanazawa ADC 2015 入選、熊本県伝統工芸館企画展「いしかわなう」展、「工芸館 Reading Style 21世紀バージョン」展

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 「ケア」を念頭に置いたヒトとコトを繋ぐコミュニケーションデザインの考察
- ② 素材研究と質的要素を加味したビジュアルデザインの考察

(Hiroshi Yanagibashi)

准教授 **柳橋 広司**



- ① 担当科目 : 絵画Ⅰ・Ⅲ 卒業制作・研究Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学美術工芸学部日本画専攻
- ③ 学 位 : 学士(芸術)
- ④ 所属学会 : (社)日展 石川県美術文化協会 石川県日本画会 京都
日本画家協会
- ⑤ E-mail : yanagibasi@kanazawa-gu.ac.jp

Ⅰ. 主な研究業績・作品等

- ◇第60回現代美術展 題名「ダチョウ」 美術文化特別賞 最高賞
- ◇第67回現代美術展 題名「羽ばたく」 美術文化優秀賞 委嘱賞
- ◇改組新 第3回日展 題名「匠」 特選

Ⅱ. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

現代日本絵画の制作

(Soshi Muratani)

講師 **村谷 聡志**



- ① 担当科目 : 工芸Ⅱ・Ⅳ 工芸表現法Ⅱ・Ⅳ 工芸実習 プレゼンテーション
基礎 芸術表現基礎 他
- ② 出身学校 : 金沢学院大学
- ③ 学 位 : 学士(芸術学)
- ④ 所属学会 : 日本工芸会
- ⑤ E-mail : muratani@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇第22回日本伝統漆芸展 日本工芸会賞
- ◇第29回日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞
- ◇第68回現代美術展 次賞
- ◇第72回現代美術展 次賞
- ◇第34回日本伝統漆芸展 奨励賞

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 乾漆技法による造形表現の追及
- ② 漆芸素材・造形素材・漆芸技法に関する調査と研究
- ③ 漆芸における2D、3Dソフトを用いたデジタルモデリングの応用

(Issei Yoshida)

講師 **吉田 一誠**



- ① 担当科目 : 芸術表現基礎 CG実習 映像論 マルチメディア論 他
- ② 出身学校 : ロンドン大学、ロンドンインスティテュート、ロンドンメ
トロポリタン大学
- ③ 学 位 : MA Fine Art MA Digital Media
- ④ 所属学会 : 芸術科学会 日本図学会
- ⑤ E-mail : i-yosida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Issei Yoshida, Nobuhiko Takada, Hidekazu Tsujiai, “Projection Mapping Creation that Targets Town Revitalization — Using Awagasaki Amusement Park in Uchinada Town” International Symposium on Business and Social Sciences 2017 Bali, Indonesia
- ◇Issei Yoshida, “A Study on the Production of Projection Mapping using Kutani-Ware Platters” Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2016, Savannah, Georgia
- ◇Issei Yoshida, Nobuhiko Takada, “The Expression of the Traditional Craft Article of Ishikawa Prefecture by Projection Mapping” International Symposium on Business and Social Sciences 2016 okinawa ◇Tokyo Wonder Wall 公募2014 入選 ◇Aomori Print トリエンナーレ2014 入選

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

クリエイティブスキルを活用したまちづくり

金沢学院大学 人間健康学部

学部長 藤原 勝夫

	教授	准教授	講師	助教
スポーツ健康学科	石村宇佐一 井篁 敬 ○外山 寛 平井 敦夫 藤原 勝夫 渡辺 涼子	福井 卓也 丸山 章子 渡辺 直勇	清田 直恵 山脇あゆみ	鶴見田鶴子 棟田 雅也
健康栄養学科	上田 伸男 ○川村美笑子 木戸 康博 桜田惣太郎 林 直之 宮本 恵美 矢野 俊博 渡邊 琢夫	七尾由美子		飯田 範子 佐喜眞未帆

○：学科長

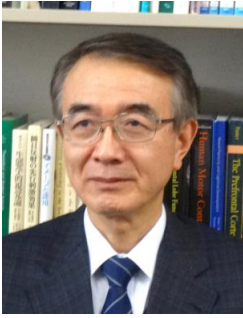
(五十音順)

(Katsuo Fujiwara)

教授

藤原 勝夫

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 機能的解剖学 生命倫理 海外文献講読 健康科学
専門演習 I・II 運動生理学
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院博士課程体育科学研究科
- ③ 学 位 : 教育学博士
- ④ 所属学会 : 日本健康行動科学会、Society for Neuroscience
- ⑤ E-mail : fujikatu@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Developmental changes in shortening of pro-saccade reaction time while maintaining neck flexion position. Journal of Physiological Anthropology Jan 37; 2. doi: 10.1186/s40101-017-0161-7. 2018.
- ◇Timings of attentional switching to perturbation and postural preparation during transient forward or backward floor translation. Journal of Physiological Anthropology Jan 37; 1. doi: 10.1186/s40101-017-0162-6. 2018.
- ◇Activation timing of postural muscles of lower legs and prediction of postural disturbance during bilateral arm flexion in older adults. Journal of Physiological Anthropology Dec 36; 44. doi: 10.1186/s40101-017-0160-8. 2017.
- ◇Postural control and contingent negative variation during transient floor translation while standing with the ankle fixed. J Physiol Anthropol. Jul 25; 36(1):7. doi: 10.1186/s40101-016-0104-8. 2016.
- ◇Event-related brain potential and postural muscle activity during standing on an oscillating table while the knee, hip, and trunk are fixed. Journal of Physiological Anthropology, 35(1): 6. DOI: 10.1186/s40101-016-0088-4. 2016
- ◇Postural control during transient floor translation while standing with the leg and trunk fixed. Neuroscience Letters, 594: 93-98. 2015.
- ◇Postural responses to various frequencies of vibration of the triceps surae and forefoot sole during quiet standing. Perception, 44:39-51. DOI: 10.1068/p7738. 2014.
- ◇Dominant side in single-leg stance stability during floor oscillations at various frequencies. Journal of Physiological Anthropology, 33:25. DOI: 10.1186/1880-6805-33-25. 2014.
- ◇Effects of time pressure on attentional shift and anticipatory postural control during unilateral shoulder abduction reaction reactions in an oddball-like paradigm. Journal of Physiological Anthropology, 33(1):17. DOI: 10.1186/1880-6805-33-17. 2014.
- ◇Effects of limiting anterior displacement of the center of foot pressure on anticipatory postural control during bilateral shoulder flexion. Journal of Electromyography and Kinesiology, 23(6): 1460-1466. DOI: 10.1016/j.jelekin. 2013.
- ◇Adaptation changes in dynamic postural control and contingent negative variation during repeated transient forward translation in the elderly. Journal of Physiological Anthropology, 32:24. DOI: 10.1186/1880-6805-32-24. 2013.
- ◇Effect of maintaining neck flexion on anti-saccade reaction time: an investigation using transcranial magnetic stimulation to the frontal oculomotor field. Journal of Physiological Anthropology, 32:21. DOI: 10.1186/1880-6805-32-21. 2013. 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

姿勢制御、脳賦活、事象関連脳電位、注意機能、体力

(Usaichi Ishimura)

教授 **石村 宇佐一** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : メンタルトレーニング論 スポーツ技術・戦術論 専門演習Ⅰ スポーツ教育科学実践特論 特論演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 広島大学
- ③ 学 位 : 教育学士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会名誉会員 日本スポーツ心理学会名誉会員
日本コーチング学会 日本教育医学会 等
- ⑤ E-mail : u-ishi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『メンタルトレーニング基礎』～不測の事態に備える～、単著ふくろう出版 2015年9月
- ◇『メンタルトレーニング入門』(単著)ふくろう出版、2013年9月
- ◇『Basketball-Step to success-』(訳者代表)大修館書店、2012年12月
- ◇『COURT SENSE-Winning Basketball's Mental Game』訳者代表、大修館書店2012年12月
- ◇『保健体育』文部科学省検定済教科書、中学校保健体育科用、著者代表(高橋健夫)他23名、大修館書店、2011年2月
- ◇「ジュニア女子サッカー選手における心理的スキルトレーニングプログラムの検討」北陸体育学会紀要 Vol. 50, 2014

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①最高の成績を発揮するためのメンタルトレーニング ②スポーツマンにおける心理的スキルトレーニングプログラムの開発 ③ゲーム分析:(量的、質的分析)

(Takashi Ino)

教授 **井 篁 敬** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ心理学 スポーツ測定評価 スポーツ実技Ⅰ(シーズンスポーツ夏・冬) スポーツ実技Ⅲ(陸上) スポーツ実技Ⅳ(テニス・バドミントン) スポーツ統計学Ⅱ スポーツメディア論 専門演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 筑波大学体育専門学群
- ③ 学 位 : 体育学修士(筑波大学大学院)
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ心理学会 日本体育測定評価学会 日本ゴルフ学会 スポーツビジョン研究会
- ⑤ E-mail : inou@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇大学における遠泳実習が気分及び影響について、金沢学院大学紀要第14号—経営・経済・情報・自然科学編、2016.3 ◇スポーツ健康学部新入生の各種測定結果(体力、体組成、スポーツビジョン)～平成27年度～、金沢学院大学紀要第14号—経営・経済・情報・自然科学編、2016.3
- ◇陸上競技選手の心理的競技能力に関する研究、金沢学院大学紀要第12号経営・経済・情報・自然科学編、159～166、2014.3 ◇トランポリン選手の注意様式に関する研究、金沢学院大学紀要第12号—経営・経済・情報・自然科学編、2014.3

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

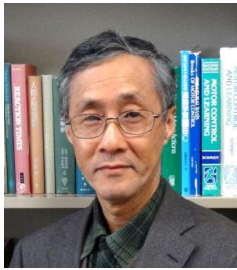
- ①スポーツ心理学 ②スポーツ測定評価 ③スポーツビジョン

(Hiroshi Toyama)

教授

外山 寛

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 運動生化学 学校保健 専門演習 I・II 運動処方 生理学基礎 他
- ② 出身学校 : 東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻
- ③ 学 位 : 博士 (学術)
- ④ 所属学会 : 日本健康行動科学会 Society for Neuroscience
- ⑤ E-mail : toyahiro@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Changes in body sway and muscle activity with adaptation while standing on an oscillating floor. Health and Behavior Sciences, 13(1), 2014.
- ◇健康高齢女性における身体活動量、下腿筋力および下腿三頭筋厚の秋期から冬期への変化。Health and Behavior Sciences, 12(1): 2013.
- ◇Adaptation changes in dynamic postural control and contingent negative variation during backward disturbance by transient floor translation in the elderly. J Physiol Anthropol, 31(12), 2012.
- ◇Effects of regular heel-raise training aimed at the soleus muscle on dynamic balance associated with arm movement in elderly women. J Strength Cond Res, 25(9), 2011.
- ◇サポート機能を有する下着着用後の足踏み運動時の身体の非対称性軽減。Health and Behavior Sciences, 9(2): 173-182, 2011.
- ◇Changes in muscle thickness of gastrocnemius and soleus associated with age and sex. Aging Clin Exp Res, 22(1), 2010.
- ◇Regular heel-raise training focused on the soleus for the elderly: evaluation of muscle thickness by ultrasound. J Physiol Anthropol, 29(1), 2010.
- ◇Determination of disturbance parameters of forward floor translation for balance training to prevent falling. Health and Behavior Sciences, 8(1), 2009.
- ◇Postural muscle activity patterns during standing at rest and on an oscillating floor. J Electromyogr Kinesiol, 16, 2006.
- ◇Perception of large change in distribution of heel pressure during backward leaning. Perceptual and Motor skills, 100, 2005.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 随意運動の自動化

(Atsuo Hirai)

教授

平井 敦夫

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 運動生理学 スポーツ実技Ⅱ(ニュースポーツ) スポーツ実技Ⅰ(シーズンスポーツ夏・冬) スポーツ医学 スポーツ実技Ⅲ(柔道・剣道) 専門演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(医学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本体力医学会
- ⑤ E-mail : hirai@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇いしかわウオーキングガイド(平成14年 北國新聞社) ◇運動負荷時の蒸散性熱放散反応は摂食により促進されるか(平成7年 科学研究費補助金一般研究(C)研究成果報告書)
- ◇動静脈吻合の体力医学的意義、デサントスポーツ科学、Vol.19 1998
- ◇摂食が指部と前腕部の血管反応に及ぼす影響 体力科学 Vol.44, 1995. ◇無風高温環境で頭部の熱移動におよぼす化粧の影響、宇宙航空環境医学 Vol.30, 1993.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①運動中のエネルギー出納 ②運動と栄養 ③スポーツ傷害の予防

(Ryoko Watanabe)

教授

渡辺 涼子

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : トレーニング論 コーチング論 スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) 専門演習Ⅰ・Ⅱ スポーツボランティア演習 海外研修(スポーツ事情) 生涯スポーツ論
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本武道学会
- ⑤ E-mail : ryoko@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「柔道強化選手と比較した大学柔道選手の精神的特徴」講道館柔道科学研究第12輯 197～204 2008 ◇「アテネオリンピックのメンタルサポーター日本代表選手のUK分析から」、講道館科学研究会紀要第10編、2005 ◇「全日本女子強化選手の運動機能に関する比較研究」柔道科学研究第1号 7-10 1995 ◇「女子柔道強化選手の体力に関する研究」武道学研究 第24巻 1993 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本代表柔道選手の成育史に関する研究 ② 女子柔道選手のコンディション評価
- ③ 柔道における新ルール改正への影響

(Nobuo Ueda)

教授 **上田 伸男**



- ① 担当科目 : 公衆栄養学 運動生理学 地域栄養演習 公衆栄養活動論 公衆栄養学実習
- ② 出身学校 : 徳島大学大学院栄養学研究科
- ③ 学 位 : 保健学博士
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本公衆衛生学会
- ⑤ E-mail : n-ueda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

論文：◇Psychosocial determinants of Fruit and Vegetable Consumption in a Japanese Population: Int. J. Environ. Res. Public Health, 13, 786-796, 2016 (共著)

◇Measurement of inferior vena cava diameter for evaluation of venous return in subjects on day 10 of a bed-rest experiment, J. Appl. Physiol., 96, 2179-2186, 2004 (共著)

◇診療所における2型糖尿病患者への非対面型個人対応食生活改善プログラム導入のための実態調査、日本栄養士会雑誌、53(11), 24-32, 2010 (共著)

著書：◇学校栄養教育概論(化学同人、2007)、◇食物アレルギーと食育(少年写真新聞社、2008)、◇肥満とメタボリックシンドローム・生活習慣病(大修館書店、2011)、◇栄養と運動(講談社)、◇高等学校家庭科教科書 家庭総合(大修館書店、2011)、◇食べ物・食育図鑑(群羊社、2012) (いずれも共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①地区の特性を考慮した住民への健康管理プログラム ②脚の形態および機能が健康に及ぼす影響 ③運動と栄養の相互作用に関する研究

(Yasuhiro Kido)

教授 **木戸 康博**



- ① 担当科目 : 生物学基礎 臨床栄養学 I・II
- ② 出身学校 : 徳島大学医学部栄養学科
- ③ 学 位 : 博士 (栄養学)
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本栄養食料学会 日本臨床栄養協会 他
- ⑤ E-mail : y-kido@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇A Household food security, food consumption patterns, and the quality of children's diet in a rural northern Ghana community. Food Nutr Bull, 16, 27-33, (1995) ◇Japanese dietary protein allowance is sufficient for moderate physical exercise in young men. J Nutr Sci Vitaminol, 43, 59-71, (1997) ◇Recommended daily exercise for Japanese does not increase protein requirement in sedentary young men. J Nutr Sci Vitaminol, 43, 505-514, (1997) ◇ε-Polylysine inhibits pancreatic lipase activity and suppresses postprandial hypertriacylglyceridemia in rats. J Nutr, 133, 1887-1891, (2003) ◇Dietary polyunsaturated fatty acids slow the progression of diabetic nephropathy in streptozotocin-induced diabetic rats. Nutr Res, 30, 217-225, (2010) ◇An evaluation of protein intake for metabolic demands and the quality of dietary protein in rats using an indicator amino acid oxidation method. J Nutr Sci Vitaminol, 57, 418-425 (2011) ◇Assessment of daily food and nutrient intake in Japanese type 2 diabetes mellitus patients using Dietary Reference Intakes. Nutrients, 5, 2276-2288 (2013) ◇A Simple Evaluation Method for the Quality of Dietary Protein in Rats Using an Indicator Amino Acid Oxidation Technique. J Nutr Sci Vitaminol, 61, 123-130 (2015) ◇Lower vegetable protein intake and higher dietary acid load associated with lower carbohydrate intake are risk factors for metabolic syndrome in patients with type 2 diabetes: Post-hoc analysis of a cross-sectional study. J Diabetes Investig, 6, 465-472 (2015) ◇Comparisons of dietary intake in Japanese with non-alcoholic fatty liver diseases and type 2 diabetes mellitus. J Clin Biochem Nutr, 60, 70-75 (2017)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①たんぱく質の必要量に関する研究
- ②疾病時の栄養管理と栄養療法に関する研究

(Sotaro Sakurada)

教授 **桜田 惣太郎** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 健康管理演習 生活習慣病概論 衛生・公衆衛生学 病理学 公衆衛生学 健康管理概論 社会福祉概論
- ② 出身学校 : 金沢大学医学部医学科
- ③ 学 位 : 博士 (医学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本公衆衛生学会、日本介護福祉学会、日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会、日本栄養改善学会
- ⑤ E-mail : sakurada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Shifts of thermoeffector thresholds in heat-acclimated rats. J. Physiol. (London) Vol. 483 (1995) ◇ A role for gastrointestinal endotoxins in the enhancement of heat tolerance by physical fitness. J. Appl. Physiol. Vol. 84 (1998) ◇Ca²⁺-dependent activation of Rho and Rhokinase in membrane depolarization-induced and receptor stimulation-induced vascular smooth muscle contraction. Circ Res. Vol. 93(2003) ◇体重と運動量の変化からみた生活習慣改善コースの実践効果 北陸公衆衛生学会誌 Vol. 30 (2003) ◇若年者を対象とした運動教室参加者の肥満関連遺伝子と運動による減量効果について肥満研究 Vol. 18 (2012) ◇大学スポーツ選手の食行動変容ステージに影響を及ぼす要因と食生活の実態 日本食育学会誌 Vol. 12(2018)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①運動と疾病の予防 ②生活習慣病の運動療法 ③健康増進プログラム

(Naoyuki Hayashi)

教授 **林 直之**



- ① 担当科目 : 生化学 I・II 生化学実験 I・II 化学基礎 栄養細胞生理学 学修基礎III
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院工学研究科
- ③ 学 位 : 工学博士
- ④ 所属学会 : 日本分子生物学会 日本生化学会 日本癌学会
- ⑤ E-mail : n-hayashi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

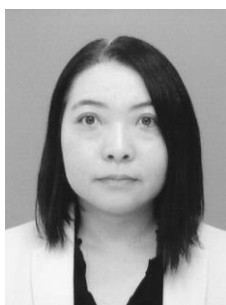
◇MicroRNA-140 mediates RB tumor suppressor function to control stem cell-like activity through interleukin-6. Oncotarget 8:13872-13885. (2017) 共著 ◇Regulatory interactions between NBS1 and DNMT1 responding to DNA damage. Journal of Biochemistry (Tokyo) 154:429-435. (2013) 共著 ◇ATM mediates pRB function to control DNMT1 protein stability and DNA methylation. Molecular and Cellular Biology 33:3113-3124. (2013) 共著 ◇NBS1 directly activates ATR independently of MRE11 and TOPBP1. Genes to Cells 18:238-246. (2013) 共著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

細胞増殖を調節する遺伝子による代謝制御

(Emi Miyamoto)

教授 **宮本 恵美**



- ① 担当科目 : 食品学 I・II 学修基礎 II 食品学実験 食品科学・機能論 他
- ② 出身学校 : 大阪府立大学
- ③ 学 位 : 農学博士
- ④ 所属学会 : 日本ビタミン学会 日本栄養・食糧学会 日本農芸化学学会 日本改善学会 日本家政学会 他
- ⑤ E-mail : e-miyamo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

著書：ビタミンの新栄養学，講談社サイエンティフィック（2012）分担執筆

筆頭論文：◇食用藻類に含まれるビタミン B₁₂ 化合物の特性と生理機能，*ビタミン*，84(3)，103-110（2010）

単 著 ◇ Characterization of methylmalonyl-CoA mutase involved in the propionate photoassimilation of *Euglena gracilis* Z. *Archives of Microbiology*, 192(6), 437-446（2010）共著

◇ Characterization of Vitamin B₁₂ Compounds from Korean Purple Laver (*Porphyra* sp.) Product. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, 57, 2793-2796（2009）共著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①食品に含まれるビタミン B₁₂ の特性と栄養評価 ②ビタミン B₁₂ 依存性酵素に関する研究 ③地産食品の利用に関する研究

(Toshihiro Yano)

教授 **矢野 俊博**



- ① 担当科目 : 食品微生物学 食品衛生学 食品衛生学実験 食品加工学実習
- ② 出身学校 : 立命館大学 理工学部
- ③ 学 位 : 農学博士
- ④ 所属学会 : 日本防菌防黴学会、日本食品微生物学会 他
- ⑤ E-mail : yanotosh@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇著書（分担執筆）『管理栄養士のための大量調理施設の衛生管理』（幸書房 2005）『実践！！食品工場の品質管理』（幸書房 2008）『実践！！食品工場のハザード管理』（幸書房 2011）

◇原著論文（共同研究）「清酒の小仕込み試験における酒質、特に有機酸生成に及ぼす影響因子」（*日本醸造学会誌* 108 2013）「Effect of food residues on efficiency of surfactants against food related pathogens adhered polystyrene and ceramic surfaces」（*LWT-food science and technology* 46 2013） 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①食品の安全性の担保および品質改善に関する研究 ②清酒製造に関する研究 ③食品の新しい殺菌技術に関する研究

(Takuo Watanabe)

教授 **渡邊 琢夫**



- ① 担当科目 : 解剖生理学 解剖生理学実験 病理学 病態生理学
- ② 出身学校 : 東北大学医学部 同大学院医学系研究科
- ③ 学 位 : 医学博士
- ④ 所属学会 : 日本生化学会 日本糖尿病学会 米国分子生物学・生化学学会
- ⑤ E-mail : takuo@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Regulation of alternative splicing of the receptor for advanced glycation endproducts (RAGE) through G-rich cis-elements and heterogenous nuclear ribonucleoprotein (hnRNP) H. J. Biochem., 147, 651-659 (2010). 共著
◇Reduced expression of endogenous secretory receptor for advanced glycation endproducts in hippocampal neurons of Alzheimer's disease brains. Arch. Histol. Cytol., 70, 279-290 (2007). 共著
◇Endogenous secretory receptor for advanced glycation end-products inhibits amyloid- β 1-42 uptake into mouse brain. J. Alzheimers Dis., 28, 709-720 (2012)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

糖尿病をはじめとする生活習慣病の病態や合併症の発症機構を細胞・分子レベルで理解し、その知見を生活習慣病の予防に生かしていきたい。

(Takuya Fukui)

准教授 **福井 卓也** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 専門演習 I・II 競技者育成システム 地域とスポーツ
スポーツイベント企画運営 学習基礎 I・II 運動学
スポーツ実技 VII (トランポリン)
- ② 出身学校 : 日本体育大学
- ③ 学 位 : 体育学修士 (日本体育大学)
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本健康行動学会
- ⑤ E-mail : fukui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

トランポリン競技におけるオリンピック強化対策に関する一考察～ロンドンオリンピック日本代表男子選手の事例～、金沢学院大学スポーツ健康学部論文集 VOL. 2、2013. 12

◇トランポリン競技の技術体系に関する研究～前方回転技術系統について～、金沢学院大学紀要、経営・経済・情報・自然科学編第 8 号、2011. 3

◇トランポリン競技における技の体系化に関する研究～特性、概念、技の分類について～、金沢学院大学紀要、情報科学自然科学編第 3 号、2007. 3

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリン競技における技術体系に関する研究 ～Tスコア獲得技術について～

(Akiko Maruyama)

准教授 **丸山 章子** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ科学 スポーツコンディショニング論 スポーツ競技の心理 スポーツ実技Ⅱ(ニュースポーツ) スポーツ実技Ⅶ(トランポリン) 基礎演習 専門演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学教育学部
- ③ 学 位 : 教育学修士(金沢大学)
- ④ 所属学会 : スポーツ心理学会
- ⑤ E-mail : akiko-f@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「トランポリン競技における Lost Skill Syndrome に関する臨床的研究」金沢大学平成 10 年度修士論文 ◇「バスケットボール選手における心理的コンディショニングが競技成績に及ぼす影響」(金沢大学教育学部紀要第 46 号 1998) ◇「トランポリン選手のメンタルトレーニングに関する縦断的研究」金沢大学教育学部紀要第 47 号 1998 ◇「トランポリン競技選手の心理的サポートに関する縦断的研究—オリンピックを目指す女子選手の事例—」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第 4 号 2006) ◇(公財)日本体操協会強化本部女子ナショナルチームコーチ(2009 年～現在に至るまで) ◇2012 ロンドン五輪日本代表女子コーチ

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリンをはじめ、各競技のメンタルトレーニングの効果、有効性について検討し、各競技に効果的なメンタルトレーニングプログラムを開発する。

(Naotake Watanabe)

准教授 **渡辺 直勇**



- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道) スポーツ科学 就職基礎講座 就職対策講座 専門演習Ⅰ・Ⅱ スポーツ行政論 スポーツボランティア論 基礎演習
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本武道学会
- ⑤ E-mail : naotake@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇柔道の競技レベルが投技評価における異見発生に及ぼす影響について
◇現代人のための健康づくり
◇「柔道選手における無酸素パワーと有酸素パワーの関係について」筑波大学修士論文 1989
◇「一流男子柔道選手の試合前のコンディショニングに関する実態調査」武道学研究 1997
◇「世界強豪選手の組み手と技データ～2001 世界選手権」柔道科学研究第 8 号 2003
◇「学生生活におけるマナー意識向上のためのシステムの提案」本教育メディア学会 2010

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 柔道選手における体力について ② 柔道競技の審判法について ③ 武道教育について

(Yumiko Nanao)

准教授 **七尾 由美子**



- ① 担当科目 : 栄養教育論Ⅰ・Ⅱ 栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ 栄養情報処理
演習 学修基礎Ⅰ 就職基礎講座 就職対策講座
- ② 出身学校 : 東京家政大学
- ③ 学 位 : 博士(学術) 東京家政大学
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会、日本食生活学会、日本食育学会 他
- ⑤ E-mail : nanao@kanazawa-gu.ac.jp (TEL:076-229-8957)

I. 主な研究業績・作品等

モデル地区の住民を対象とした健康増進プログラムの試み

児童のお手伝い行動と「食に関する感謝の念」の関連性

～性別による違いの検討～

カフェテリア方式での料理の並び順は食事選択に影響するか(第2報)

～一般学生対象～

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①スポーツ選手への食支援 ②大学生の食生活の実態調査

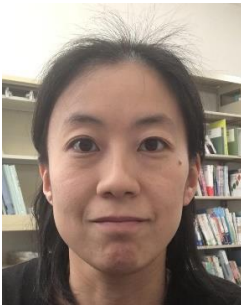
③料理の順番が食事選択に与える影響 他

(Naoe Kiyota)

講師

清田 直恵

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : 生理学 社会福祉学 トレーニング論 トレーナー演習
健康運動演習 健康運動指導士演習 健康づくり運動実
習 健康学特論 地域スポーツ活用特論
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院医学系研究科
- ③ 学 位 : 博士 (医学)
- ④ 所属学会 : Society for Neuroscience 日本生理人類学会 日本健康
行動科学会 日本理学療法士協会
- ⑤ E-mail : kiyota@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Developmental changes in shortening of pro-saccade reaction time while maintaining neck flexion position. J Physiol Anthropol., 37(1):2, 2018 ◇Timings of attentional switching to perturbation and postural preparation during transient forward or backward floor translation. J Physiol Anthropol., 37(1):1, 2018 ◇Activation timing of postural muscles of lower legs and prediction of postural disturbance during bilateral arm flexion in older adults. J Physiol Anthropol., 36(1):44, 2017 ◇Postural control and contingent negative variation during transient floor translation while standing with the ankle fixed. J Physiol Anthropol., 36:7, 2016 ◇Event-related brain potential and postural muscle activity during standing on an oscillating table while the knee, hip, and trunk are fixed. J Physiol Anthropol., 35:6, 2016 ◇Postural responses to various frequencies of vibration of the triceps surae and forefoot sole during quiet standing. Perception, 44:39-51, 2015 Postural control during transient floor translation while standing with the leg and trunk fixed. Neurosci Lett., 594:93-98, 2015 ◇Effects of finger reaction task on event-related potentials with postural disturbance using transient backward translation. Health Behav Sci., 12, 66-72, 2013 ◇Contingent negative variation and activation of postural preparation before postural perturbation by backward floor translation at different initial standing positions. Neurosci Lett., 490(2):135-139, 2011 ◇Effects of anti-saccade training with neck flexion on eye movement performance, presaccadic potentials and prefrontal hemodynamics in the elderly. Euro J Appl Physiol, 110(6):1143-1154, 2010

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 姿勢制御、抑制機能

(Ayumi Yamawaki)

講師 **山脇 あゆみ** スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅰ(シーズンスポーツ夏・冬) スポーツ実技Ⅴ(サッカー・バレー) 体育史 健康運動指導士演習 健康づくり運動実習 専門演習Ⅰ スポーツ実技Ⅲ(陸上) 基礎演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学位 : 博士(学術)
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本野外教育学会 東北アジア体育スポーツ史学会
- ⑤ E-mail : yamawaki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇日本泳法の伝播と変容(博士論文)[金沢大学大学院 2015 受理] ◇組織キャンプにおける参加児童の社会的行動に関する研究、野外教育研究第14号、pp.1-12(2011) ◇台湾に伝えられた日本泳法-古亭庄水泳場と基隆水泳場を中心に-、体育史研究第30号、pp.97-108(2013)
◇金沢に伝わる古式泳法に関する研究-清記流の泳法について-、金沢学院大学紀要第11号経営・経済・情報科学・自然科学編、pp.199-207(2013)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①野外教育 ②野外スポーツ ③日本泳法

(Tazuko Tsurumi)

助教 **鶴見 田鶴子**



- ① 担当科目 : 臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ/栄養アセスメント 他
- ② 出身学校 : 放送大学大学院 文化科学研究科 修士課程
- ③ 学位 : 修士(学術)
- ④ 所属学会 : 日本病態栄養学会 日本静脈経腸栄養学会 他
- ⑤ E-mail : turumi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

『著書』◇Nutrition Care(ニュートリションケア)経口摂取量upのヒント!食べられない理由とその対策(2011) 共著◇ケースで学ぶ栄養管理の思考プロセス第4巻呼吸器疾患・癌・周術期・ライフステージ(2011)共著◇臨床栄養 別冊 NCMシリーズ 栄養ケアマネジメント ファーストトレーニング3 呼吸器疾患、摂食・嚥下障害、褥瘡他(2012)共著◇管理栄養士のための疾患・症状・身体のはたらきイラスト事典 臨床栄養キーワードこれだけ 60(2012)共著◇ナーシングケアQ&A第50号 そこが知りたい!がん化学療法とケアQ&A第2版(2014)共著 他

『論文』◇肝臓病治療食の脂肪酸組成(1982)共著◇離乳期乳児のそしゃくの指導に関する研究(1992)共著◇ベビーフードの使用と離乳の進行状況(1993)共著◇母親の離乳食作りに対する姿勢と離乳の進行(1994)共著◇離乳に関する情報入手と離乳の実態との関連性(1994)共著◇離乳の進行状況に関する実態調査(1994)共著◇重症心身障害児(者)施設において提供している食事の食物形態別の物性評価に関する考察(2015)単著 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

調理操作が食材の栄養成分や食味に及ぼす影響について

(Masaya Muneda)

助教 **棟田 雅也**



- ① 担当科目 : スポーツ科学 地域課題研究Ⅰ 専門演習Ⅰ スポーツ実技(シーズンスポーツ夏・冬) スポーツ技術・戦略論 労働社会論 スポーツ法学 他
- ② 出身学校 : 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科
- ③ 学 位 : スポーツ科学修士
- ④ 所属学会 : 日本スポーツマネジメント学会 アジアスポーツマネジメント学会 日本体育・スポーツ経営学会 日本生涯スポーツ学会 日本体育学会
- ⑤ E-mail : muneda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇参加型スポーツツーリズムにおけるサービスクオリティの構成概念：マラソン大会参加者の質的データの分析. 日本スポーツマネジメント学会第10回大会一般研究ポスター発表(学術研究), 早稲田大学, 2018. ◇スポーツマネジメント教育プログラムにおける学生の選好に関する研究. 日本体育・スポーツ経営学研究, 31(1):41-54, 2017. ◇観戦者のチームへの愛着と観戦場所への愛着～日米野球独立リーグの比較～. 大阪体育大学紀要, 48:87-93, 2017. ◇Antecedents and Consequences of Fans' Satisfaction. 15-minute Oral Presentation at the Sport Management Association of Australia and New Zealand Conference 2016, Auckland, NZ, 2016. ◇アジアスポーツマネジメント学会 2015年度大会国際会議レポート. スポーツマネジメント研究, 8(1):39-43, 2016. ◇大学の地域貢献活動に関する地域住民の選好行動：コンジョイント分析を用いて. 日本生涯スポーツ学会第17回大会研究発表(オーラル発表), 鹿屋体育大学, 2015. ◇Examining Consumers' Preference for a Community-Based Sports Club. Poster Presentation at the 11th Asian Association for Sport Management Conference, Langkawi Island, Malaysia, 2015. ◇アジアスポーツマネジメント学会 2014年度大会国際会議レポート. スポーツマネジメント研究, 7(1):44-50, 2015. ◇オーストラリア・ニュージーランド・スポーツマネジメント学会第20回大会国際会議レポート. スポーツマネジメント研究, 7(1):64-69, 2015. ◇Course Design in Sport Management Education—Students' Preference through Conjoint Methodology—. 20-minute Oral Presentation at the 20th Anniversary Sport Management Association of Australia and New Zealand Conference, Melbourne, Australia, 2014. ◇スポーツマネジメント教育を受ける学生の学習動機に関する研究：G大学経営学部スポーツ経営学科を対象として. 体育経営管理論集, 6:31-43, 2014.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①フードサービスマネジメントにおける給食及び調理実務の効率的な展開
- ②大量調理における食品の選択と調理技術の効率的な方法

(Noriko Iida)

助教 **飯田 範子**



- ① 担当科目 : 給食経営管理論 給食経営管理基礎実習 給食経営管理
応用実習
- ② 出身学校 : 北海道栄養短期大学
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 : 日本給食経営管理学会評議員 日本臨床栄養学会
日本静脈経腸栄養学会 日本栄養改善学会
- ⑤ E-mail : n-iida@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇著書『給食実務必携』共著、第一出版（2013.2017） ◇『病院給食業における業務、労務管理の
実践』単書、雇用・能力開発機構（2008） ◇『病院給食業におけるクレームの対応と対策』単書雇
用・能力開発機構（2008） ◇イラストによる食物摂取調査及び結果が食生活改善に効果報告（2015）
-日本健康体力栄養学会 ◇長期入院患者へのアミノ酸配合ゼリーによる栄養改善効果について
（2009）-日本臨床栄養学会誌 ◇食品成分表の調理加工食品群の収載食品への期待（2010）-日本栄
養改善学会誌 ◇コントラクトにおける栄養コンサルティングの実際（2007）-日本給食経営管理学
会 ◇21世紀の食事サービスの向上に関する研究（2002, 2003, 2004）-日本メディカル給食協会

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①フードサービスマネジメントにおける給食及び調理実務の効率的な展開 ②大量調理におけ
る食品の選択と調理技術の効率的な方法

(Miho Sakima)

助教 **佐喜真 未帆**



- ① 担当科目 : 学校栄養教育法 食に関する指導法
- ② 出身学校 : 愛知医科大学大学院医学研究科
- ③ 学 位 : 修士（食品栄養科学）
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本食育学会 日本生理学会
- ⑤ E-mail : sakima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇栄養学科等学生による高校生を対象とした食育講座-官学協働の食育実践報告(第1報)金沢学院大
学教職センター紀要. 2018. (共著) ◇朝食欠食習慣を有する大学生のための栄養教育に関する研
究. 金沢学院大学紀要 第16号. 2018. (共著) ◇Adenosine triphosphate is a critical determinant
for VEGFR signal during hypoxia. Am J Physiol Cell Physiol 311(6): C985-C995, 2016. (共著)
◇Activator of G-protein signaling 8 is involved in VEGF-mediated signal processing in
angiogenesis. J Cell Sci 129: 1210-1222, 2016. (共著) ◇管理栄養士養成課程に在籍する学生
の朝食における食習慣の実態(第2報). 修文大学紀要 第7号 pp. 12-19. 2016. (共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇管理栄養士養成課程に在学する学生の朝食摂取に対する意識および食習慣の改善方法に関す
る研究 ◇栄養教育媒体の開発

金沢学院大学 基礎教育機構

機構長 中島 彰史

教授	准教授	講師	助教
岡田 政則 土農 力 高田 伸彦 (中島 彰史)	佐々木圭一 武村 敏幸 中村 直行 春名 亮 (坂東 貴夫)	山岸由美子 林 文慧	中川恵理子

()は文学部専任教員

〈五十音順〉

(Masanori Okada)

教授 **岡田 政則** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ データベース演習Ⅰ・Ⅱ ウェブ活用演習Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学
- ③ 学 位 : 博士(情報科学)
- ④ 所属学会 : 日本創造学会
- ⑤ E-mail : okada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇フィールドワークにおけるつぶやきシステムの効果、平成29年11月、電子情報通信学会システム数理と応用研究会 ◇移動時における気づきの収集、平成29年9月、第39回日本創造学会研究大会 ◇つぶやきシステムを利用したミニ移動大学の実践、平成29年8月、教育システム情報学会 全国大会(第42回)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

学生の創造性開発と解析

(Riki Shinou)

教授 **士農 力**



- ① 担当科目 : 金沢まち学Ⅰ
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 公益社団法人日展会員 一般財団法人石川県美術文化協会 理事 一般社団法人日本美術家連盟会員 京都日本画家協会会員 青塔社会員
- ⑤ E-mail : riki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇日展入選「埠頭」「HONG KONG'90」「Brooklyn Brigde」他(1987~2003) ◇日春展入選・受賞・会員出品(1987~2015) ◇文化庁芸術インターンシップ研修員(1995) ◇現代美術展美術文化大賞「サンフランシスコ」(1996)◇日展特選「Lex. Avenue」(2000) ◇日展特選「Montparnasse」(2003) ◇日展無鑑査・出品委嘱、「闘牛場の見える街」他(2004~2006) ◇全関西美術展審査員(2005) ◇現代美術展審査員(同'99,'01,'04,'08,'11) ◇日展審査員(2007) ◇日展会員出品(2008~) ◇金沢市文化活動賞受賞(2008) ◇日展会員賞「THE BRONX」(2011) ◇「こころの京都」百選展(京都府)に「あまのはしだて」出品(2013) ◇「中町力日本画展」NEW YORK Drawing & Painting-(永井画廊2013) ◇紺綬褒章(2013)◇Saion des Beaux Arts 2014 (SNBA展パリ・ルーブル)審査員賞 ◇第1回 石川県文化奨励賞(2016) ◇「金沢を歩く」士農 力 スケッチ展 (石川県立歴史博物館ギャラリー2016)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

写生取材及び日本画作品の制作と発表

(Nobuhiko Takada)

教授

高田 伸彦

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 :
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 工学士
- ④ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 教育システム情報学会 芸術科学会
- ⑤ E-mail : ntakada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Nobuhiko Takada, Issei Yoshida, Ryoichi Yanagisawa, Masami Suzuki, The Evaluation of Applying our Developed Haiku Application to Liberal Arts Students, Site2014 (AACE), 査読有, vol.1.1, pp1-6, 2014 ◇高田伸彦, 吉田一誠, 鈴木雅実, 柳澤良一, 日本文学科の学生による俳句創作活動の嗜好評価, 教育システム情報学会, 査読無, Vol.29, no2., 2014 ◇Nobuhiko Takada, Issei Yoshida, Ryoichi Yanagisawa, Masami Suzuki, The Development of The Haiku Application Corresponding to Specification Changes and its Evaluation, ICSLE2014, 査読有, vol1, pp1-4, 2014 ◇高田伸彦, 吉田一誠, 鈴木雅実, 柳澤良一, 浅見健司, Android OS のバージョンアップに対応できる俳句アプリケーションの改良, 教育システム情報学会, 査読無, Vol. 28, no2, pp47-54. 2013 ◇高田伸彦, 吉田一誠, 鈴木雅実, 柳澤良一, Android OS のバージョンアップに影響を受けにくいアプリケーションの開発方法, 教育システム情報学会, 査読無, Vol. 27, no5. pp141-146, 2013

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

携帯情報端末での句活動のアプリケーション開発と実用化実験

(Keiichi Sasaki)

准教授

佐々木 圭一



- ① 担当科目 : 学修基礎 I・II 自然造形論 素材科学 美術と社会 自然科学概論 I・II 自然地理学概説 I・II 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(理学) [金沢大学]
- ④ 所属学会 : 日本地質学会 日本第四紀学会 日本サンゴ礁学会
- ⑤ E-mail : sasak1@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇炭素・酸素同位体組成に基づく地表露出面から復元する約 62~52 ka の海水準変動(2013) 共著 地質学雑誌 v. 119, p. 155-170
◇²³⁰Th/²³⁴U and ¹⁴C dating of a lowstand coral reef beneath the insular shelf off Irabu Island, Ryukyus, southwestern Japan(2006) 共著 Island Arc v. 15, p. 455-467
◇Interstadial coral reef terraces and relative sea-level changes during the marine isotope stages 3-4 at Kikai Island, central Ryukyus, Japan. (2004) 共著 Quat. Int., v. 120, p. 51-64

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①南西諸島喜界島における完新世サンゴ礁段丘の形成過程 ②琉球列島のサンゴ礁堆積物からみた後期更新世以降の海水準変動 ③放射性同位体を用いた物質循環に関する研究

(Toshiyuki Takemura)

准教授 **武村 敏幸**



- ① 担当科目 : 法学Ⅱ(日本国憲法) 法学Ⅱ 法学Ⅰ(日本国憲法) 法学Ⅰ 法学(日本国憲法) 知的所有権法 知的所有権論 日本国憲法 法と社会 他
- ② 出身学校 : 金沢大学法文学部大学院法学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 法学修士
- ④ 所属学会 : 比較法学会 日本公法学会
- ⑤ E-mail : takemura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

大学の「紀要」に論文を投稿している。また、一般社会人の方を対象とした「公開講座」も2回担当した。著書については、共著がいくつかあるが、個人名義の単著はないので、今後、講義ノートをもとめた本を出版できればと考えている。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

専攻である憲法に関する今日的諸問題を、最新のデータを基にして検討しているが、ここ最近は、ネットワーク社会の明と暗および知的財産の国際的問題あるいはスポーツ分野の法的動向を主な研究テーマとしている。

(Naoyuki Nakamura)

准教授 **中村 直行** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 哲学Ⅰ・Ⅱ 情報倫理特論 情報活用演習Ⅰ・Ⅱ コンピュータ活用演習Ⅰ・Ⅱ 数学基礎 コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(文学)
- ④ 所属学会 : 日本科学哲学会 応用哲学会 中部哲学会
- ⑤ E-mail : nao-naka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇(単著・著作:2015)『沈黙と無言の哲学—〈語りえぬもの〉の語りなさを語る—』大学教育出版 ISBN4864293260、2015年4月20日◇(単著・論文:2016)「〈夢の使用〉と〈夢への言及〉」、金沢大学哲学・人間学論叢、柴田正良教授退職記念号(第7号)pp. 51-64、2016年3月◇(単著・論文:2016)「0人称の死」、金沢学院大学紀要、文学・美術・社会学編(第14号)pp. 51-57、2016年3月◇(単著・論文:2015)「私は世界のどこにもいない—誰でもない私から安心立命の私へ」、金沢学院大学紀要、文学・美術・社会学編(第13号)pp. 43-50、2015年3月◇(単著・論文:2014)「心と体の切っても切れない関係」、金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編(第12号)pp. 43-7、2014年3月◇(単著・論文:2013)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 『計算機のルネサンス』、論理空間と記憶

(Ryo Haruna)

准教授

春名 亮

スポーツ健康学研究科担当



- ① 担当科目 : スポーツ統計学Ⅰ データ解析(基礎) データ解析(演習) コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ 情報活用演習 情報科学特論
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(情報科学)
- ④ 所属学会 : 日本OR学会 日本経営工学会 日本経営システム学会
- ⑤ E-mail : haruna@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇「個人属性および嗜好情報に基づく行動選択の最適化」, 第59回日本経営システム学会全国研究発表会講演論文集, pp.124-127 (2017) [単著] ◇「個人属性および嗜好情報に基づく対象選択のためのモデル化」, 金沢学院大学 紀要第15号[社会科学], pp. 111-114 (2017) [単著] ◇「増量と減量を希望する大学生スポーツ選手の食生活に関する心理的要因の違い」, 金沢学院大学教育研究所紀要第1号, pp.129-137 (2017) [共著] ◇“EDGE RANKING IN GRAPH USING DISCRETE CHOICE”, International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.12, No.6, pp.1919-1928 (2016) [共著] ◇“FUZZY SHAPLEY VALUE BASED ON LINEAR SOLVABLE FORMULATION”, ICIC Express Letters (An International Journal of Research and Surveys), Vol.10, Number 3, pp.621-628 (2016) [共著] ◇「非理工系学生のモデル化能力を高めるための取り組み」, 信学技報(電子情報通信学会技術研究報告 IEICE Technical Report), vol.115, No.492, pp.175-180 (2016.3) [共著] ◇「個人の属性と対象の特性を考慮した選択のモデル化」, 第28回バリエーションシステム学会年次大会講演論文集 pp.259-260 (2015) [共著] ◇“Finding Pareto Optimum Solution among Cost, Health Risk and Environmental Burden in Recycling Cooking Oil”, Proceedings of 2014 2nd International Conference on Technology, Informatics, Management, Engineering & Environment, pp.15-18 (2014) [共著] ◇「環境負荷の定量化および製品寿命の長期化に関する費用の管理」, 金沢学院大学紀要(経営・経済・情報・自然科学編), 第12号, pp.1-5 (2014) [単著] ◇「加賀藩主御膳料理の復活による加賀料理のブランド化・発信プロジェクト」, 大学・地域連携アクティブフォーラム「地域課題研究ゼミナール支援事業」成果報告会 (2014) ◇「LCAにおける環境負荷の算出法の改善」, 第29回フジシステムシンポジウム講演論文集, pp.287-288 (2013) [共著] ◇「持続可能な開発における生産活動のマネジメント」, 金沢学院大学紀要(経営・経済・情報・自然科学編), 第11号, pp.11-17 (2013) [共著] ◇“Evaluation of Middle and Long Term Management Efficiency of Public Museums by Network DEA”, International Journal of Biomedical Soft Computing and Human Sciences, vol.17, pp.11-17 (2012) [共著] ◇「経営工学のエッセンス」(第2章, 第4章後半, 付録A執筆担当), 朝倉書店(2012) ◇「経営システム学への招待」(第11章1節), 日本評論社 (2011)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇「サービス・サイエンスにおける確率的不確実性および曖昧性の下での意思決定」, 科学研究費助成事業(基盤研究(C), H29～H31) ◇生産・販売活動における管理・計画の手法とその応用、統計教育の方法論

(Yumio Yamagishi)

講師 **山岸 由美子**



- ① 担当科目 : 英語コミュニケーション I・II
- ② 出身学校 : 立教大学英米文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : y-yamagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 高等学校英語教材の研究とその指導法
- ② 大学における基礎科目としての英語教育の在り方を探る

(Wenhui Lin)

講師 **林 文慧**



- ① 担当科目 : 中国語 I・II・III・IV 他
- ② 出身学校 : 富山大学大学院
- ③ 学 位 : 修士(経済学)
- ④ 所属学会 : 中国語教育学会 日本中国語学会
Jjapana Esperanto-Instituto
- ⑤ E-mail : melin@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

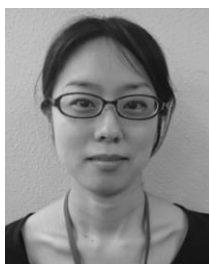
- ◇「爆買い」から習う中国語語彙の構成—日本語表現との比較 第16号 2018 金沢学院大学紀要 基礎大紀要
- ◇自然会話における“不会吧”の機能表現について 第15号 2017 金沢学院大学紀要
- ◇Miskompreno inter ambaux popoloj cxina kaj japana---kauxzita de kulturo kaj vivkutimo 第13号 2015 金沢学院大学紀要
- ◇やしい中国語基礎編 2014 好文社
- ◇中国語「句」の学習—日本語と英語と対照に 第12号 2014 金沢学院大学紀要
- ◇三言両語 循序漸進 2013 好文社
- ◇中国語の基本文型の学習—中国語・日本語・英語との比較を導入した指導法 第11号 2013 金沢学院大学紀要
- ◇「ma」のない中国語疑問文の学習—英語の Wh-Questions と対照しながら 第10号 2012 金沢学院大学紀要
- ◇中国語の修飾について(-日本語のとの比較) 第35号 2010 金城短大紀要
- ◇茶文化の道へ(-喫茶普及における中国と日本の比較)
- ◇中国の「高考経済」について(-現代中国における教育改革の実態) 第30号 2006 第34号 2009
- ◇「XX 経済」という言葉のバブル現象 第29号 2005 金城短大紀要
- ◇中国の企業グループ(-その形成と育成策について) 1992 富山大学大学院経済論文集 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

大学における中国語教育とその方法論、中国語と日本語との比較

(Eriko Nakagawa)

助教 **中川 恵理子**



- ① 担当科目 : 図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習 情報資源組織演習 情報資源組織論 児童サービス論 他
- ② 出身学校 : 武庫川女子大学文学部日本語日本文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 日本図書館研究会 大学図書館問題研究会 日本読書学会
- ⑤ E-mail : e-naka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇利用者調査を踏まえた学修支援サービスの展開—金沢学院大学図書館における事例—
(金沢学院大学紀要 第15号 2017年3月)
- ◇「金沢学院大学図書館ラーニングコモンズ活用実態について」
(金沢学院大学紀要 経営・経済・情報・自然科学編 第14号 2016年3月)
- ◇「金沢学院大学における司書資格取得希望学生の意識調査」
(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編第13号 2015年3月)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 大学図書館の利用促進について ② 司書課程履修者のこれまでの図書館利用状況について

金沢学院短期大学

- 現代教養学科
- 食物栄養学科
- 幼児教育学科

金沢学院短期大学

学 長 川村 美笑子

副学長 河内 久美子

	教授	准教授	講師	助教
現代教養学科	河内久美子 高他 毅 槻木 裕 益子 待也 ○松井 良雄	R. W. カニンガム	小里 千寿 村上 智	
食物栄養学科	小原 晴樹 中塚 晴夫 ○原田 澄子	西野 洋一 本多佐知子	金浦 修郎 多田 邦宏 安嶋まなみ	平山 雄大
幼児教育学科	高田 清 寺田 達也 諸岡 康哉 ○吉田 若葉	鈴木 賢男 高木香代子	嶋田 容子	棒田 美江 村山 大樹

○：学科長

(五十音順)

(Takeshi Takata)

教授 **高他 毅**



- ① 担当科目 : 社会学 現代社会論 情報社会論 メディア論 言語と文化 社会心理学
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : t-takata@kanazawa-gu. ac. jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「宗教はポスト・モダンを担うるか」(共著、中央公論新社「中央公論」第100巻第2号 pp206-233) THE THUNDERING WORLD OF THE TAIKO(ルックジャパン「LOOK JAPAN」巻号43(502)pp30-33)
- ◇「俵夫と軍人と教師と交換経済 —『無法松の一生』において表象された近代と『國民』の未生一」(金沢学院短期大学紀要第16号 pp7-28)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

就職や進学に関する統計データから、主に戦後の日本における地域差を分析しています。特に高度成長期の大都市圏への人口集中とユースカルチャーの形成の関連性について探っています。並行して、認知言語学の知見を参考にしつつ言語や記号と社会の関係について考えています。

(Yutaka Tsukinoki)

教授 **槻木 裕**



- ① 担当科目 : 哲学 日本文学購読C 日本語Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士(京都大学)
- ④ 所属学会 : 日本哲学会 日本科学哲学会 比較思想学会 他
- ⑤ E-mail : tsukinoki@kanazawa-gu. ac. jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『文学でたどる浄土真宗のエステー—問いかける仏、問いかける宗教』(探究社2009年6月) ◇一元論的実在論のもとでの判断論—分岐点としてのF.H.ブラッドリーの哲学(『北陸宗教文化』第19号、2007年3月)
- ◇「空へと至る基本的“論理”と矛盾律」(『比較思想研究』第30号2004年3月)
- ◇『現代の無我論—古典仏教と哲学』(晃洋書房2003年10月)
- ◇「無我説と行為主体の問題—現代哲学の視点から—」(『比較思想研究』第25号1999年3月)
- ◇『ゲーム理論の哲学—合理的行為と理性の狡智—』(M.ホリス)全訳(晃洋書房1998年3月) ◇「カント倫理学と無心」(『比較思想研究』第24号1998年3月) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

人間が行為・行動するさいの概念機構の研究。ここ何年かは仏教の空思想の解明を、概念機構のあり方の研究の一環として取り組んできた。現在はブラッドリーの観念論的一元論や西田幾多郎の一元論に興味がある。

(Machiya Mashiko)

教授 **益子 待也** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 観光人類学 民俗学 文化人類学 英米文化論
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科
- ③ 学 位 : 博士 (文学)
- ④ 所属学会 : 日本文化人類学会 日本民俗学会 加能民俗の会
- ⑤ E-mail : mashiko@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「南東アラスカ・トリングットの死者祭宴」(I)～(IX), 2010年～2018年、『金沢学院大学紀要文学・美術編』『金沢学院短期大学紀要「学葉」』に連載
- ◇『講座 世界の先住民族 ―― ファースト・ピープルズの現在 ――』第7巻 北米 (共著) 2017年 明石書店。
- ◇『カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題』(共著) 2015年、国立民族学博物館調査報告131 国立民族学博物館。
- ◇『民俗のこぼ』現代民俗学の視点 第2巻 (共著) 1998年 朝倉書店。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

捨子の民俗学、カラスの民俗学、片目伝承論、盲目伝承論、夜のフォークロア、雨乞いと河童駒引と猿の民俗学、〈老い〉の民俗学、旧暦六月1日の民俗、名前の民俗学、貴種流離譚・行きて帰りし物語。

(Yoshio Matsui)

教授 **松井 良雄**



- ① 担当科目 : 情報処理基礎 情報処理 I・II ビジネスソフト実習 地域課題ワークショップC 自然科学入門 コンピュータ活用演習 情報処理演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院工学研究科機械工学専攻
- ③ 学 位 : 博士(工学)
- ④ 所属学会 : 日本機械学会 ターボ機械協会 日本生物環境工学会
- ⑤ E-mail : matsui@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇学生に返却する課題シートに教員からのコメントを記入した場合の教育的効果について、金沢学院短期大学紀要、第15号、2017-3、p.39-47。 ◇白マイタケの近紫外・可視光域の生体電位の波長依存特性と形態形成特性、日本生物環境工学会 2017年松山大会、講演要旨集、2017-8、p.104-105。 ◇学生による授業アンケートの実施と分析、金沢学院短期大学紀要、第14号、2016-3、p.1-15。

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ◇LED光源を活用した茸類の栽培効率改善に関する研究 ◇短期大学生の情報処理能力向上を目指した教育方法の検討 ◇シャトルカードを活用した教育指導と勉学意欲の向上について ◇科学の話題や数学・理科の基礎教育における授業活性化の取り組み

(Haruki Ohara)

教授 **小原 晴樹**



- ① 担当科目 : 教育制度論 教育行政・制度論
- ② 出身学校 : 同志社大学
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 石川県社会教育協会 石川県教育振興会 石川県退職校長会
- ⑤ E-mail : h-ohara@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇教員としての基本的資質の育成学校運営・管理 ◇学校の危機管理・対応 ◇教育行政

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇公教育としての学校制度 ◇主体的・対話的で深い学び

(Haruo Nakatsuka)

教授 **中塚 晴夫**



- ① 担当科目 : 食品学 I・II 食品学実験 基礎栄養学 化学基礎
- ② 出身学校 : 東北大学農学部、東北大学大学院農学研究科博士課程後期課程
- ③ 学 位 : 農学博士
- ④ 所属学会 : 日本畜産学会 日本栄養食糧学会 日本産業衛生学会
日本公衆衛生学会 日本衛生学会 日本学校保健学会
日本家庭科教育学会
- ⑤ E-mail : nakatuka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇Iodine intake by adult residents of a farming area in Iwate Prefecture, Japan, and the accuracy of estimated iodine intake calculated using the Standard Tables of Food Composition in Japan Environmental Health and Preventive Medicine 2016, 21: 523-530

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

食品中および食事中のヨウ素量と金属量

(Sumiko Harada)

教授 **原田 澄子**



- ① 担当科目 : 調理学 調理学実習Ⅱ 食生活論
- ② 出身学校 : 愛媛大学 農学修士
- ③ 学 位 : 家政学士 農学修士
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本調理科学学会
- ⑤ E-mail : harada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇幼児の食事に関する調査研究
- ◇園児の食事作りの指導、児童への食生活指導や親子料理教室
- ◇富山県の日常食、行事食、郷土食に関する調査研究著書
- ◇小児栄養学総論、伝統食品・食文化 in 金沢ー加賀・能登・越中・永平寺ー食生活論、給食経営管理実習

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本調理科学会の特別研究の一環として「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理 富山県」

(Kiyoshi Takada)

教授 **高田 清**



- ① 担当科目 : 保育原理 教育の方法と技術 教育方法・技術論
- ② 出身学校 : 広島大学大学院
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育学会 日本教育方法学会 安田女子大学児童教育学会
- ⑤ E-mail : k-takada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇学校教育実践の理論と方法 コレール社 平成13年6月
- ◇人と生きる力を育てる～乳幼児期からの集団づくり～ 新読書社 平成18年6月
- ◇学習集団の論争的考察 溪水社 平成29年1月

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

実践的指導力と実践記録について

(Tatsuya Terada)

教授 **寺田 達也** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語Ⅰ ことば 国語 地域と子どもⅠ・Ⅱ 日本文学の歴史 映像と文学 近・現代文学購読 近・現代文学演習A 他
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 修士(文学)
- ④ 所属学会 : 日本近代文学 日本文学協会 東京大学国語国文学会
- ⑤ E-mail : terada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「犬ころポチ」物語の読み聞かせ教材化—児童文化財としての二葉亭四迷「平凡」—(『金沢学院大学教育研究所紀要』(電子版)第1号、平成29年3月)
- ◇「二葉亭四迷『小説総論』と没理想論争—想実論を軸として—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第15号、平成29年3月)
- ◇『恋する文学～ほくりく散歩』(共著、北國新聞社、平成26年2月)
- ◇『北陸 近代文学の舞台を旅して』(共著、北國新聞社、平成24年2月)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

二葉亭四迷を中心とする明治文学、日本近代文学、児童文学

(Kosai Morooka)

教授 **諸岡 康哉**



- ① 担当科目 : 保育内容総論Ⅰ 保育・教育課程論 地域と子どもⅠ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 広島大学大学院教育学研究科博士課程単位修得満期退学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育方法学会
- ⑤ E-mail : morooka@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『特別活動の基礎と展開』共編著 平成11年3月 コレール社
- ◇『人と生きる力を育てる』共編著 平成18年6月 新読書社
- ◇『現代教育方法辞典』共編著 平成16年10月 図書文化社

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

授業指導論 幼児教育論

(Wakaba Yoshida)

教授 **吉田 若葉**



- ① 担当科目 : 地域と子ども I・II 保育内容総論II 保育内容(環境・言葉・総合表現) 保育実習 I (保育所・施設) 保育実習指導 I
- ② 出身学校 : 北陸学院短期大学
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 : 日本保育学会
- ⑤ E-mail : wakaba@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『子どもと言葉』共著、大学図書出版
- ◇子どもの音楽表現にみられる解放と共感 日本保育学研究
- ◇創造性豊かな保育者養成を目指す授業の工夫・科目「子どもと環境」における「気づき」の学習
- ◇教育課程に係る教育時間終了後に行う教育活動のあり方に関する一考察～「幼児の音楽グループ」の活動を通して～

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 保育者養成

(Cunningham Robert Wesley)

准教授 **R.W. カニングム**



- ① 担当科目 : 英語 I A 英語 II A 応用英語 A 異文化間コミュニケーション 卒業研究 他
- ② 出身学校 : Wittenberg University
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : MAJ (Moodle Association of Japan)
ETJ (English Teachers in Japan)
- ⑤ E-mail : wes@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- 論文◇「Simple Gamification in Moodle Using the TaskChain Module」(金沢学院短期大学紀要第58集 2017)◇「A Survey of students' perceived effectiveness, enjoyability and feedback after studying in a blended, face-to-face and online English course using Moodle: Report on student responses gathered at the end of the first semester of 2011」(金沢学院短期大学紀要第53集 2012)◇「Report on a hybrid (face to face and online) English course, developed specifically to encourage self-study habits, notebook writing skills, pair oriented speaking tasks and basic paragraph writing skills for students with rudimentary English ability and decreased motivation.」(金沢学院短期大学紀要第52集 2011)学会発表:◇「Recording, editing and managing multiple audio files for online language learning」(日本 Moodle 協会第3回 高知工業大学 2011)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Moodle で CALL(Computer Assisted Language Learning) を利用して、IT 利用の英語学習で学生のモチベーション(意欲)・リスニングの力を高めること。e-learning と CALL、即ち「コンピューター利用学習」で、特に「多様な学習者レベル」用の英語学習教材開発が中心である。

(Youichi Nishino)

准教授 **西野 洋一**



- ① 担当科目 : 給食管理論 給食管理実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (校外実習) 他
- ② 出身学校 : 東京農業大学農学部栄養学科
- ③ 学 位 : 農学士
- ④ 所属学会 : 日本給食経営管理学会 日本栄養改善学会
- ⑤ E-mail : y-nisino@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇病院給食諸帳票様式「標準化」に関する調査報告書(日本メディカル給食協会)
- ◇日本の病院給食委託に関する一考察【直営と委託との労働生産性での比較検討】
- ◇調理後の温度低下コントロールの基礎的研究
- ◇過熱蒸気式再加熱カートの微生物制御面での安全性の確認

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①医療・福祉施設での適温給食方法の改善
- ②料理保存方法としての新調理システムの活用と効率化について

(Sachiko Honda)

准教授 **本多 佐知子**



- ① 担当科目 : 調理学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 応用調理学実習
- ② 出身学校 : 大阪市立大学生生活学部食物学科
- ③ 学 位 : 学士
- ④ 所属学会 : 調理科学会
- ⑤ E-mail : s-honda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇『兵庫県の家庭料理 季節ごとに見る兵庫のおやつの特徴』日本調理学会, 研究発表要旨集, 2017 (共著)
- ◇『Effective Human Motion of Fresh Cream Mixing Extracted by a Motion Analysis』5th Asian Conference On Mixing, 2016 (共同口頭発表)
- ◇『特別企画1「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」兵庫県の家庭料理主食の特徴—ごはんもの—』日本調理学会, 研究発表要旨集, p28, 2016 (共著)
- ◇『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理 兵庫県の聞き書き調査の現状』日本家政学会食文化研究部会, 2016 (口頭発表)
- ◇『兵庫県の昭和30・40年代に食べられていた家庭料理 (その1 ごはんもの・もち) (その2 おかず他)』日本調理学会, 研究発表要旨集, p80, 2015 (共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理

(Masao Suzuki)

准教授

鈴木 賢男



- ① 担当科目 : 教育心理学 教育相談 地域と子ども I・II 情報処理
他
- ② 出身学校 : 文教大学人間科学部 金沢大学大学院教育学研究科
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本イメージ心理学会
日本感情心理学会 日本発達心理学会 日本教育工
学会 日本人間性心理学会
- ⑤ E-mail : m-suzuki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇幼児期における主体性の評価についての心理学的意義 —教育環境での主体性尺度を発達の観点から検討した総合的な試論—, 金沢学院大学教育研究所紀要第1号, pp. 189-202, 2017
- ◇大学生の学習観についての特徴 — 質的研究におけるトライアングレーションの試み —, 文教大学言語と文化研究所紀要, 第30号, pp. 131-160, 2018 (共著)
- ◇初年度大学生における主体性の評定と学期終了時の学習評価との関連 — 主体性を特徴づける学業生活における意識 —, 文教大学人間科学研究, 第39号, pp. 173-184, 2018 (共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①幼児から大学生および社会人における学習観や学習スタイルのあり方と学業生活への効果や影響 (主として、学習を中心とした諸活動における主体性の心理学的意味の考察、および尺度の作成と評価)
- ②諸活動におけるためらい (躊躇) に作用する要因、ためらい (躊躇) の心理学的意義の検討 (主として、ためらいにおける時間的猶予がもたらす正負両面の効果)

(Kayoko Takagi)

准教授

高木 香代子



- ① 担当科目 : 幼児体育 I・II 地域と子ども I・II 保育内容 (健康)
体育 II (リズムダンス) スポーツ実技 VI (ダンス) ス
ポーツ科学
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本介護福祉学会
- ⑤ E-mail : k-takagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「エアロビックダンスの運動強度—上肢、及び、下肢の動きの分類による—金沢大学大学院教育学研究科修士論文、1991
- ◇「大学生の『創作ダンスの授業』に関する研究」金沢学院大学紀要 情報科学、自然科学編、第12号、2014
- ◇「幼児用リズムダンスに関する研究」金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編、第14号、2016 (共著)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①学校・幼児体育におけるダンス及び表現運動に関する研究
- ②ダンス・エクササイズの指導方法

(Chizu Kosato)

講師 **小里 千寿**



- ① 担当科目 : 地域連携プロジェクト I・II キャリアデザイン I・II
インターンシップ 基礎演習 ビジネス文書 他
- ② 出身学校 : 法政大学大学院社会科学研究科経営学専攻
- ③ 学 位 : 経営学修士
- ④ 所属学会 : 労働政策研究・研修機構 キャリアデザイン学会 日本労務学会 日本経営工学会 経営行動科学学会 日本学校教育学会 日本キャリア教育学会 他
- ⑤ E-mail : kosato@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇著書共著『インターンシップで始める就『勝』本』（日本法令平成20年6月）◇論文『サービス業に従事する派遣労働者の技能形成 - 婚礼司会者の事例 - 』（芝浦工業大学研究報告 VOL. 47（人文系編 ISSN0386-3107）（P.109～P.114）（平成25年3月）◇共著『技能伝承の短期化に向けた実態調査』（拓殖大学国際開発学研究 VOL.13 NO.1（P.79～P.103）（平成25年9月）◇共著『THE EFFECTIVENESS OF SUPPORT SYSTEMS IN MANUFACTURING（製造業における技能伝承サポートシステムの有効性）』（7th SETUC SYMPOSIUM, INDONESIA, South East Asian Technical Universities Consortium）（平成25年3月）◇共著『文系大学生を対象とした1・2年生向けプログラムー 産学連携によるプレ・インターンシップの事例紹介 ー』（日本産業経済学会研究論集）（平成29年3月）

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①アクティブラーニングにおける能力の伸び ②実務教育における能力の伸び ③技能形成
- ④キャリア教育の効果 ⑤インターンシップの変遷と効果

(Satoshi Murakami)

講師 **村上 智**



- ① 担当科目 : 旅行・観光ビジネス 国内旅行業実務 ホスピタリティ演習 ビジネスマナー ホテル・ブライダル事業論 基礎演習 他
- ② 出身学校 : 新潟大学
- ③ 学 位 : 法学士
- ④ 所属学会 : 日本観光学会 東北史学会 観光学術学会
- ⑤ E-mail : s-murakami@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇国内、海外旅行業実務（営業、企画、仕入、添乗等）
◇地域公共交通確保、維持、改善事業

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①道の駅の地域活性化における役割、②企業における社員旅行の果たす効果、③インバウンド振興の現状と考察

(Shuro Kanaura)

講師 **金浦 修郎**



- ① 担当科目 : 道徳教育及び特別活動の研究
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 教育学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : kanaura@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇『体力づくりハンドブック』作成 ◇「総合的な学習の時間」の取り組みと校長の関わり

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

道徳教育と特別活動の意義、総合的な学習の時間との繋がりを考える

(Kunihiro Tada)

講師 **多田 邦宏**



- ① 担当科目 : 健康スポーツ I・II スポーツ科学 I・II
- ② 出身学校 : 国士舘大学
- ③ 学 位 : 体育学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : k-tada@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

著書

◇「指導教本」(ソフトボール編)単著 平成8年3月(埼玉県教育委員会) ◇「みるみる上達するソフトボール」～神村学園の確実に強くなる練習法～ 単著 平成27年9月(ティアンドエイチ社) 海外派遣

◇国際スポーツ専門家長期派遣事業、派遣専門家(ソフトボールコーチ) 平成12年9月～平成13年3月

国体関係

◇平成6年、8年～10年 埼玉県 国体少年女子コーチ ◇平成11年 埼玉県 国体少年女子監督 ◇平成21年～24年 徳島県 国体成年女子監督 ◇平成27年～29年 鹿児島県 国体少年女子監督 主たる指導実績(ソフトボール)

◇平成5年 埼玉県立滑川高校 全国高校総体ベスト16 ◇平成9年 同上 全国高校選抜大会3位 ◇平成15年、20年 三島中央病院 全日本実業団選手権大会優勝 ◇平成21年 大鵬薬品工業(株) 全日本実業団選手権大会3位 ◇平成25年 神村学園高等部 全国高校総体ベスト16 ◇平成26年 同上 全国高校総体優勝 ◇平成27年 同上 全国高校総体出場 ◇平成28年 同上 全国高校選抜大会3位、全国高校総体出場、国民体育大会準優勝 ◇平成29年 同上 全国高校選抜大会ベスト16、全国私学大会準優勝、全国高校総体5位 ◇平成30年 同上 全国高校選抜大会3位

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ソフトボールにおけるトレーニング理論

(Manami Yasujima)

講師 **安嶋 まなみ**



- ① 担当科目 : 学校栄養教育論 栄養教育実習 栄養指導論Ⅰ 栄養指導論実習 栄養士総合演習Ⅰ
- ② 出身学校 : 上越教育大学大学院
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本学校保健学会 日本栄養改善学会
- ⑤ E-mail : yasujima@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

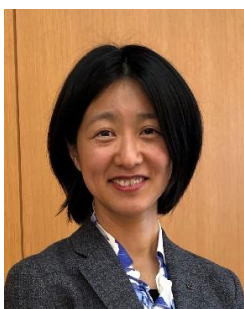
◇小中学校栄養教諭・学校栄養職員の「食に関する指導」の実態に関する調査研究

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

小中学校児童生徒の食生活実態に関する調査研究

(Yohko Shimada)

講師 **嶋田 容子**



- ① 担当科目 : 乳児保育 地域と子どもⅠ・Ⅱ
- ② 出身学校 : 立命館大学文学部インスティテュート 京都大学文学研究科 (発達心理学)
- ③ 学 位 : 文学博士
- ④ 所属学会 : 日本赤ちゃん学会 日本発達心理学 日本心理学会 日本音響学会
- ⑤ E-mail : s-youko@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

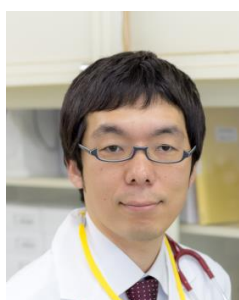
◇「0. 1. 2歳の子ども<音><音楽>を聴くことに関する特性—保育園・幼稚園の音環境を考える」(単著)(音楽教育実践ジャーナル vol.15, 95-103, 2017年) ◇「子どもと声を合わせたら-声と声との応答責任」(共編著『子育ての会話分析』第14章)(昭和堂、2016年) ◇「赤ちゃんの耳の仕組みを知ろう」(単著)(保育ナビ vol.5(2) p69-71, 2014年) ◇“Infant vocalization when alone: possibility of early sound playing. (乳児が一人での発声行動: 初期の音遊びの可能性)”(単著)(International Journal of Behavioral Development, 36(6)207-412, 2012年) ◇“Acoustic analyses of speech sounds and rhythms in Japanese- and English-learning infants. (日本語・英語を学習する乳児の音声の音響とリズムの分析)”(共著)(Frontiers in Language Sciences, 4 (57), 1-1, 2012年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①保育園・幼稚園の音環境と子どもの聴こえ ②乳幼児の声とコミュニケーション

(Yuudai Hirayama)

助教 **平山 雄大**



- ① 担当科目 : 臨床栄養学実習 応用栄養学実習 キャリアデザイン
I・II 栄養士総合演習II
- ② 出身学校 : 名古屋学芸大学大学院 栄養科学研究科 栄養科学専攻
- ③ 学 位 : 修士(栄養科学)
- ④ 所属学会 : 日本健康・栄養システム学会 日本褥瘡学会 日本栄養士会
- ⑤ E-mail : hirayama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇2017年1月末まで、社会医療法人慈泉会相澤病院栄養科栄養管理部門にて勤務。栄養サポートチーム専従者を担当。また同病院の褥瘡対策委員会に所属。◇市民向け講座の講師「生活習慣病予防を始める食事の一步」◇急性期病院から居宅に向けた継続的栄養ケアの提供について学会報告◇脳外科と循環器内科の外来診療における栄養指導システムを導入した4年間について学会報告◇日本人のたんぱく質摂取基準について、食と医療, vol.3, pp.6-13, 2017.◇加齢による栄養状態の変化とタンパク質栄養, 日本栄養士会雑誌, vol161, pp.31-37, 2018.

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

臨床栄養学(栄養管理、褥瘡管理)

(Yoshie Bouda)

助教 **棒田 美江**



- ① 担当科目 : 音楽I・II 地域と子どもI・II
- ② 出身学校 : 仁愛女子短期大学 音楽学科
- ③ 学 位 : 短期大学士
- ④ 所属学会 : 日本ピアノ教育連盟
- ⑤ E-mail : y-bouda@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇棒田美江ピアノリサイタル 1990年, 1992年, 2000年 ◇モーツァルト ピアノコンツェルト第20番 ピアノソロ1997年(金沢室内管弦楽団) ◇ジュール・ド・ショパン〜ショパンの日〜 2010年 ◇バッハ ブランデンブルグコンツェルト第5番 チェンバロソロ 2012年, 2013年 (モーツァルトアカデミー室内管弦楽団) ◇ジョイントコンサート〜ロマン派のひとつとき〜 2011年 ◇親子で楽しむ名曲コンサート 2000年〜2017年 ◇ラ・フォル・ジュルネ金沢 2010年, 2011年, 2014年, 2016年 ◇「ピアノ音の外部遮音と内部伝導の音性能について」(共著) 金沢学院大学紀要第15号 2017年 ◇『音楽好きに育てるための幼児期の音楽指導の研究』(単著) 金沢学院大学教育研究所紀要 第1号 2017年

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①子どもの音楽遊び ②ピアノ演奏表現

(Taiki Murayama)

助教

村山 大樹



- ① 担当科目 : 地域と子ども I・II 保育実習 I (保育所・施設) 保育実習指導 I 生徒指導論 他
- ② 出身学校 : 文教大学大学院 教育学研究科
- ③ 学 位 : 修士 (学校教育)
- ④ 所属学会 : 日本保育学会 日本学校教育学会 日本国際理解教育学会
- ⑤ E-mail : murayama@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇東京学芸大こども未来研究所『あそびのたねずかん』東京書籍 (2016) ◇「小学校『生活科』と保育領域『環境』の連携に関する研究～ICT の活用を軸として～」、『教育研究所紀要』、文教大学教育研究所、第 25 号、pp. 143-152 (2016-12) ◇幼児向けアンドロイド端末「コードなび!」企画・監修プロジェクト担当 ◇「次世代保育付きワークスペースサービス」プロジェクト担当 ◇NPO 法人 eboard 研究開発担当 <https://www.eboard.jp>

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 幼児教育におけるデジタルの可能性
- ② 海外玩具 (EEG マテリアル) に関する調査研究
- ③ 不登校支援における ICT の活用

大学院担当教員

	教授	准教授	講師	助教
人文学研究科	秋山 稔 石崎 建治 小嶋 芳孝 ○水洞 幸夫 寺田 達也 中島 彰史 馬場先恵子 益子 待也 柳澤 良一	大滝 宏一 薮 際子 寺田 智美 坂東 貴夫 本多 俊彦	井内 健太 加来 奈奈 工藤 義信	
経営情報学研究科	阿手 雅博 *M*D 飯田 栄治 *M 石川 温 *M*D 井手 秀樹 *M*D 岡田 政則 *M 奥井めぐみ *M*D 桑野 裕昭 *M*D 高田 伸彦 *M 高橋 啓 *M*D ○田中 晴人 *M*D 中島 真澄 *M*D 根本 博 *M*D 森 浩一 *M	岩井恒太郎 *M 大野 尚弘 *M*D 中村 直行 *M 福田 裕一 *M 渡邊 誠士 *M		
スポーツ健康学研究科	石村宇佐一 井籠 敬 桜田惣太郎 外山 寛 ○平井 敦夫 藤原 勝夫 渡辺 涼子	春名 亮 福井 卓也 丸山 章子	清田 直恵 山脇あゆみ	

○：研究科長

(五十音順)

*M：博士前期課程担当教員

*D：博士後期課程担当教員

専任教員索引 (五十音順)

◆所属学部 文学部：文学 経営情報学部：経情 芸術学部：芸術
人間健康学部：人間健康 基礎教育機構：基礎 短期大学：短大

氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁	氏名	所属学部	頁
秋山 稔	文学	1	土農 力	基礎	63	福井 卓也	人間健康	55
阿手 雅博	経情	2	嶋田 容子	短大	81	福田 裕一	経情	36
荒川 昭広	芸術	42	水洞 幸夫	文学	8	藤原 正光	文学	14
飯田 栄治	芸術	39	鈴木 賢男	短大	78	藤森 慎一	文学	21
飯田 範子	人間健康	61	高木 香代子	短大	78	藤原 勝夫	人間健康	47
石川 温	経情	30	高他 毅	短大	71	棒田 邦夫	芸術	41
石崎 建治	文学	8	高田 清	短大	74	棒田 美江	短大	82
石村 宇佐一	人間健康	48	高田 伸彦	基礎	64	本多 佐知子	短大	77
市島 桜魚	芸術	39	高橋 啓	経情	30	本多 俊彦	文学	18
井手 秀樹	経情	31	武村 敏幸	基礎	65	前川 浩子	文学	19
井篁 敬	人間健康	48	竹村 裕樹	経情	32	益子 待也	短大	72
井内 健太	文学	22	多田 邦宏	短大	80	増淵 幸男	文学	14
今田 晃一	文学	11	多田 孝志	文学	13	松井 良雄	短大	72
岩井 恒太郎	経情	35	田中 晴人	経情	33	松村 祐香里	文学	24
上田 伸男	人間健康	51	塚崎 玲子	文学	20	丸山 章子	人間健康	56
枝元 香菜子	文学	28	槻木 裕	短大	71	宮本 恵美	人間健康	54
大滝 宏一	文学	15	鶴見 田鶴子	人間健康	59	棟田 雅也	人間健康	60
大野 尚弘	経情	35	寺田 達也	短大	75	村上 智	短大	79
岡田 政則	基礎	63	寺田 智美	文学	16	村谷 聡志	芸術	45
岡 秀夫	文学	12	外山 寛	人間健康	49	村松 麻里	文学	28
奥泉 敦司	文学	26	中川 恵理子	基礎	68	村山 大樹	短大	83
奥井 めぐみ	経情	31	中崎 崇志	文学	17	室橋 弘人	文学	25
小嶋 祐伺郎	文学	12	中島 真澄	経情	33	森 浩一	経情	34
小原 晴樹	短大	73	中島 彰史	文学	9	森本 哲介	文学	25
加来 奈奈	文学	22	中塚 晴夫	短大	73	諸岡 康哉	短大	75
笠間 弘美	文学	13	中村 晋也	文学	17	安嶋 まなみ	短大	81
金浦 修郎	短大	80	中村 直行	基礎	65	柳澤 良一	文学	10
川村 美笑子	人間健康	4	南雲 まさ	文学	27	柳橋 広司	芸術	44
木戸 康博	人間健康	52	七尾 由美子	人間健康	57	矢野 俊博	人間健康	54
清田 直恵	人間健康	58	西田 伸一	芸術	40	山岸 由美子	基礎	67
工藤 義信	文学	23	西野 洋一	短大	77	山崎 達文	芸術	3
桑野 裕昭	経情	32	丹羽 俊夫	芸術	40	山脇 あゆみ	人間健康	59
河内 久美子	短大	5	根本 博	経情	34	吉田 一誠	芸術	45
小里 千寿	短大	79	乗富 章子	文学	27	吉田 若葉	短大	76
越田 久文	芸術	42	羽場 文彦	芸術	43	米川 泉子	文学	21
児島 新太郎	芸術	43	馬場先 恵子	文学	10	米澤 順一	経情	37
小嶋 芳孝	文学	9	林 直之	人間健康	53	米澤 利明	文学	15
小西 護	文学	23	原田 澄子	短大	74	米澤 正雄	文学	11
小林 淳一	文学	19	春名 亮	基礎	66	R.グラッシ	文学	26
佐田東 彰	文学	20	坂東 貴夫	文学	18	林 文慧	基礎	67
佐喜真 未帆	人間健康	61	平井 敦夫	人間健康	50	R.W.カニンガム	短大	76
桜田 惣太郎	人間健康	53	平木 孝志	芸術	41	渡邊 琢夫	人間健康	55
佐々木 圭一	基礎	64	平山 雄大	短大	82	渡辺 直勇	人間健康	56
佐々木 聡	文学	24	広根 礼子	芸術	44	渡邊 誠士	経情	36
蔀 際子	文学	16	深堀 遼太郎	経情	37	渡辺 涼子	人間健康	50